

豊川市行政経営改革プラン

豊川市行政経営改革アクションプラン

取組状況報告書（案）

（令和元年度分）

令和2年11月

豊川市



目 次

1	全体の取組結果	・ ・ ・ ・	1
2	重点取組の評価結果	・ ・ ・ ・	3
3	重点取組以外の評価結果	・ ・ ・ ・	28
4	重点評価の結果	・ ・ ・ ・	127
	参考	・ ・ ・ ・	130



1 全体の取組結果

■概要

行政経営改革アクションプラン（平成31年度～平成33年度/2019年度～2021年度）で掲げた目標について、令和元年度における全体の取組結果の概要は、次のとおりです。

なお、行政経営改革審議会では、重点取組の全件25件について評価を受けています。

① 実施率について

■実施率：目標値97%以上（111件以上）⇒実績値95.6%（109件）

② 収入増加額・支出削減額について

■収入増加額・支出削減額：目標値2.5億円以上⇒実績値2.6億円

■目標を超えるもの：3件 ■目標に至らないもの：6件（財政・資産の別掲分含む。）

③ 将来像別の評価結果による点数について

■進捗度評価点：66.5点／100点 ■効果の達成度評価点：67.9点／100点

④ 進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）について

■3点（計画を超える進捗）：0件 ■1点（計画に至らない進捗）：0件 ■0点（中止・保留）：0件

⑤ 効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）について

■3点（目標を超える効果達成）：6件 ■1点（目標に至らない効果達成）：1件

■0点（工程どおりに開始せず、効果がないもの）：0件

■集計結果

※目標の件数は、次年度以降のアクションプランでは、全体の取組件数の変更に伴い変更されますが、割合は変更されません。

① 実施率（具体的取組の実施状況（検討などを含まない。））

全114件の取組中、実施状況が「取組開始」「取組中」「実施」「完了」となった件数及び割合

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標	件数	101件以上	105件以上	109件以上	111件以上	114件
	割合	89%以上	92%以上	95%以上	97%以上	100%
実績	件数	104件	108件	109件	109件	
	割合	92.0%	94.7%	95.6%	95.6%	

② 収入増加額・支出削減額（取組みを実施しなかった場合と比較して得られた収入増加額と支出削減額の合計）

全114件の取組中、収入増加額・支出削減額が得られた合計額

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上
実績	4.1億円	2.9億円	3.3億円	2.6億円	

③ 将来像別の評価結果による点数

合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
進捗度評価点	67.6点	67.5点	67.0点	66.5点	
効果の達成度評価点	68.9点	68.1点	68.0点	67.9点	

④ 進捗度評価の状況

全ての取組における進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点）

※進捗度評価 3点：計画を超える進捗 2点：計画どおり進捗 1点：計画に至らない進捗 0点：中止・保留

<審議会後評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像2情報・共有	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像3財政・資産	0件	32件	0件	0件	32件	13.3点
将来像4組織・仕組	0件	15件	0件	0件	15件	13.3点
将来像5人材・品質	0件	29件	0件	0件	29件	13.3点
合計	0件	114件	0件	0件	114件	66.5 点

⑤ 効果の達成度評価の状況

全ての取組における効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点）

※効果の達成度評価 3点：目標を超える効果達成 2点：目標どおりの効果達成
1点：目標に至らない効果達成 0点：工程どおり開始せず、効果がないもの

<審議会後評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	0件	18件	0件	0件	18件	13.3点
将来像2情報・共有	1件	18件	0件	0件	19件	13.7点
将来像3財政・資産	4件	26件	1件	0件	31件	14.0点
将来像4組織・仕組	0件	14件	0件	0件	14件	13.3点
将来像5人材・品質	1件	26件	0件	0件	27件	13.6点
合計	6件	102件	1件	0件	109件	67.9 点

2 重点取組の評価結果 具体的取組評価結果票
(令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	行政課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	1 市民参画意識の醸成		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	11

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点1	パブリックコメント手続制度の推進	広報媒体、公共施設等を利用し、パブリックコメント手続の実施を周知する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・行政への参画意識の向上	行政課	
				市役所ロビー等でのパブリックコメント手続の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市ホームページや広報により、市民に対し周知・啓発を行う。 ・職員研修などにより、職員の制度への理解を深めるとともに、事務手続を適切に行う。 ・制度のさらなる啓発を図るための施策について検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・市役所ロビー等でパブリックコメント手続を実施するとともに、市ホームページや市広報を利用し周知を行った。 ・中央図書館の展示イベントのほか、新たに、おいでん祭の市政PRコーナーに参加し、制度の啓発を行った。 ・制度について理解を深めるとともに、事務手続を適切に行うため、職員研修を行った。				
取組による効果	・パブリックコメント手続の制度や実施について、複数の方法により市民への周知を図ることができた。（実施件数11件、資料配付数513件、意見数157件） ・職員への啓発及び研修により、制度への理解を深めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・様々な方法により、市民に対しパブリックコメント手続について周知・啓発を行い、意見を募集することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市民アンケートでは、パブリックコメント手続制度について知らない市民もいるため、制度のさらなる推進のため、引き続き市民への周知・啓発に取り組む必要がある。
今後の具体的な取組予定	・市ホームページや広報により、市民に対し周知・啓発を行う。 ・職員研修などにより、職員の制度への理解を深めるとともに、事務手続を適切に行う。 ・制度のさらなる啓発を図るための施策について検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働				主管課	市民協働国際課
施策	① 市民参画の推進					
改革手段	2 市民参画機会の増加					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点2	市民参画機会の増加	町内会の加入促進策を実施し、町内会の積極的な取組に対して支援する。					・地域全体でのまちづくりの推進	市民協働国際課	
				加入促進策や支援策の検討・実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、小学校3年生を対象に、連区・町内会と連携して町内会啓発冊子を活用した出前講座を実施し、町内会活動の重要性と自分たちの住む地域への愛着心とまちづくり意識を育てる啓発を行う。 ・引き続き、「町内会加入促進活動事業費補助」を活用し、町内会が主体となった独自の加入促進活動に対して支援を行う。 ・引き続き、町内会応援事業を実施し町内会活動に対する財政的支援を行う。				
取組内容	【取組中】 ・町内会啓発冊子を作成し全小学校に配布するとともに、町内会役員等と協働して小学3年生の社会科授業で出前講座を実施した。 ・事業所等の協力を得て町内会応援事業を実施し、財政的支援を行った。 ・多言語対応の町内会啓発冊子を作成し、イベント等で加入促進を図った。				
取組による効果	・19小学校が啓発冊子を活用、うち8校で出前講座を実施したことで、児童に町内会への意識の啓発を図ることができた。 ・町内会応援事業所を10件追加し、13町内会がイベントでの弁当や事務用品の購入に割引等のサービス提供を受けるなど、町内会の財政的支援が図れた。 ・多言語で加入促進チラシや啓発冊子を作成・配布したことで、外国人に町内会の仕組みや加入の必要性を啓発することができた。 ・前年度（4/1現在）比較として、加入率は1.3%減少したが、加入世帯は89世帯増加した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・町内会活動の重要性のPRや、町内会活動への財政的支援等の強化が図られ、町内会加入率は低下したものの、加入世帯数を増加させることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	町内会加入促進活動や支援の取組みを評価できるが、加入促進と並行して町内会役員の負担軽減等の活動内容のスリム化も検討が必要と考える。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・町内会への加入を促進するため、町内会活動の活性化を図るとともに、町内会が抱える課題解決に向けて様々な手法で支援する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、小学校3年生を対象に出前講座を実施するとともに、町内会加入促進事業や、町内会応援事業を実施する。 ・新たに、課題解決に意欲のある町内会にアドバイザーを派遣するとともに、庁内プロジェクトチームを設置し、町内会加入率低下対策を検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	市民協働国際課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の仕組づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点3	とよかわ市民協働推進計画の推進	とよかわ市民協働推進計画を推進し、協働のまちづくりに取組む。					・地域全体でのまちづくりの推進	市民協働国際課	
とよかわ市民協働推進計画に基づく実施施策の展開									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、「とよかわ市民協働推進計画」の推進を図る。				
取組内容	【取組中】 ・市民活動団体の提案型事業として、市民協働推進事業の公開審査を行った。 ・とよかわボランティア・市民活動センターだよりを年4回発行した。 ・企業などが発行する情報紙へ市民活動情報を掲載した。 ・市民向け協働研修（出前講座）と職員向け協働研修を実施し、協働意識の醸成を図った。 ・愛知大学の学生と連携して、ツイッターの開始や広報レポーターを養成するなど、市民活動情報の収集・発信の強化を図った。 ・各課に市民協働推進員を配置し、協働事業の施策に向けて各課との連携の強化を図った。				
取組による効果	・市民活動団体や地縁組織の9団体が、他団体や企業などといっしょに補助金を活用して協働によるまちづくり活動を行うことができた。 ・情報紙に延べ13件の市民活動情報を掲載することで、市民活動団体が実施するイベントへの参加者を増やすことができた。 ・協働ガイドを活用した市民向け協働研修（出前講座）を開催し、参加者127名に対して市民協働の意識啓発の強化を図ることができた。 ・各課に市民協働推進員を設置して研修を実施（49名参加）するとともに、市民協働推進事業の公開審査に係る職員が参加するなど、全庁的に市民協働を推進する体制を整備することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・とよかわ市民協働推進計画に基づく各種取り組みを推進したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	大変積極的に取り組んでおり、効果もみられる。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・推進計画に基づき実施した事業について、取り組みの成果や課題、進捗状況を評価し、より効率的かつ効果的な施策及び事業の展開を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、「とよかわ市民協働推進計画」の推進を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3	重点4	企業など他団体との人事交流	市と企業で相互に職員を派遣・受入を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・他団体との連携の強化 ・民間の知識の習得	人事課	
				民間への短期派遣研修の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・令和元年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣し、民間派遣研修として「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ参加させる。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。				
取組内容	【取組中】 ・豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣した。 ・「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ3名を派遣した。 ・豊川市社会福祉協議会から職員1名を受入れた。				
取組による効果	・公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P. 127)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・豊川青年会議所への派遣については、時間外や週休日等の参加となるため、受講者本人、所属や家族の理解が必要である。 ・これらの研修により得られたものを本市の業務に還元することが重要である。
今後の具体的な取組予定	・令和２年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣し、民間派遣研修として「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ参加させる。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	2 大学などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点5	大学連携の推進	大学の知識や人材を活用し、質の高い行政運営を図る。					- 専門的な知識の活用 - 効果的な事業の実施	企画政策課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・前年度と同様の取組を継続するとともに、希望調査並びに他事業との連携した新たな活用手法に係る検討及び大学連携の活用促進に取り組む。				
取組内容	【取組中】 ・平成24年3月に締結した愛知大学との協定を継続し、各教授に各種計画策定等に委員として参画していただいたほか、名古屋大学受託研究員として防災に関する職員を派遣した。 ・同じく協定に基づき、豊川市版身近な自然環境調査及び自然環境調査マップの作成や、第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に係る政策提言について、学生の協力を得た。				
取組による効果	・各大学の専門的な知識の活用や人材の協力を得ることにより、事業の深化の推進及び効果的な事業の実施につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・愛知大学などと18事業で連携を図ることができ、また、新たな連携事業の開始について進めることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	大学との連携により、専門的な知識やスキルを市の各分野に生かしていけることは貴重であり、大学や学生に協力してもらった施策について、市民にも周知できると良いと考える。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 大学連携協定活用の継続した庁内周知により、個別施策の取組をより効果的にしていくことが求められる
今後の具体的な取組予定	・ 同様の取組を継続するとともに、希望調査並びに他事業との連携した新たな活用手法に係る検討及び大学連携の活用の促進に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	3 広域行政の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2	重点6	他自治体との連携の推進	各分野で他自治体との連携を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・業務対応力の強化	企画政策課	
				各分野で連携の実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・他自治体との連携した取組による業務の効率化や、情報共有等による業務の取組に係るレベルアップ等を目的として、引き続き他自治体との連携を推進する。				
取組内容	【取組中】 ・「東三河広域連合」における共同事務処理の実施や「東三河広報広聴担当者研修」を始めとした各種分野で引き続き他自治体等との連携を推進する。				
取組による効果	・各分野で連携することにより、業務の効率化を図るとともに、業務の対応力が強化された。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・272件の連携体制が継続されており、業務対応力を強化することができているため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・連携体制が構築されている業務について、連携体制を継続することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き他自治体等との連携を推進する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	① 地域情報化の推進		
改革手段	1 地域情報化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	18

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2	重点7	国の情報発信ツールの活用	地方創生に関係する国の情報発信ツールを活用する。					・効果的な情報発信 ・定住・交流の促進	企画政策課	
				全国移住ナビ*等への情報掲載						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き国等のプラットフォームを活用することで、広く本市取組の情報発信を行う。				
取組内容	【取組中】 ・あいちUIJターン支援センター（愛知県）を活用し、UIJターン希望者向けの情報発信を継続実施（総務省プラットフォームである全国移住ナビは令和2年3月末で廃止） ・本市の地方創生に関する取組である地域再生計画について、内閣府から引き続き認定を受けた。				
取組による効果	・UIJターン支援センターを通じて、インターネット及び東京圏で豊川市の魅力発信を行うことができた。 ・本市の特色ある取組を掲載した地域再生計画が内閣府ホームページに掲載されることにより、広域的な周知につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・国や県の情報発信ツールを活用した情報発信を引き続き行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・本市の特色や独自の取組について、情報発信を継続して行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き国等のプラットフォームを活用することで、広く本市取組の情報発信を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課
施策	② 広報機能の強化		
改革手段	1 広報機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	19

	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3	重点8	広報に関する意識改革、協働化・民間活用	職員を対象とした広報の意識改革を図る研修等や、民間アドバイザー等を活用した広報活動を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・広報力の強化	秘書課	
				・研修会の開催 ・専門的な知識や経験を持つアドバイザーからのアドバイスを活用した広報活動						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き研修会などを定期的に行い、職員の広報意識の向上に努める。 ・市ホームページの積極的な活用を呼びかけながら、定期的な操作研修会を開催する。				
取組内容	【取組中】 ・中日新聞社通信局長・川合道子氏による広報意識改革研修会を開催した。（10月30日開催、参加人数41人） ・広報協会プラップジャパン・井口明彦氏による危機管理広報研修会を開催した。（1月31日開催、管理職対象55人） ・ウェブアクセシビリティの向上を図るため、ホームページ操作研修を開催した。（12月10・11日開催、参加人数44人） ・映像制作会社アルマダス代表・吉田泰行氏を広報アドバイザーに委嘱し、撮影技術の向上を図った。 ・地域情報誌「豊川はなまる」を発行するプライズメントと協働し、市政情報の発信を行った。（毎月1回発行）				
取組による効果	・専門分野で活躍する講師の実践的なアドバイスにより、レイアウト、写真の使い方、表現方法等において、効果的な情報発信のスキルの向上を図ることができた。 ・市ホームページのアクセシビリティに関する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・各種研修会の職員アンケートでは、参加者のほとんどが「理解できた」と回答するなど、職員の良好な反応を得ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。（アンケートで「理解できた」と回答した割合。広報意識改革研修会：100%、危機管理広報研修会：96.3%、ホームページ操作研修（ウェブアクセシビリティ：93%、操作：95%））				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する 外部評価・意見	各種広報に関する意識改革を評価し、目標を超える効果達成度とする。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・研修等で得た知識や技術を日々の広報業務に反映できるように、職員一人ひとりの広報意識を高めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・研修会などを定期的に開催し、職員の広報意識の向上に努める。 ・民間アドバイザー等を活用し、情報発信技術の向上を図るとともに、市ホームページ等の積極的な活用を呼びかける。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4	重点9	事業の庁内における評価の実施	庁内における評価を実施し、説明の機会を充実する。					・分かりやすさの向上 ・説明力の向上	企画政策課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・「政策間連携ワーキング」において事業の評価を行うことで、政策間の連携をさらに意識した事業説明及び評価の実施を図る。				
取組内容	【取組中】 ・政策間の連携を図ることを目的としたワーキングを実施し、令和元年度は「女性の活躍推進」について外部委員を招聘しながら複数課の職員が意見交換を行った。 ・また、昨年ワーキングを実施した「豊川公園の多機能化」についての実証実験イベント「こどものまち」を12月に実施した。				
取組による効果	・庁内複数課のみならず民間企業等の視点も広く取り入れることで、行政の施策としてどのような取組が望ましいかの検討を行うことができた。 ・イベントの実証実験を行ったことにより、具体的な利点や注意点、課題等を把握することができ、今後のイベント開催につながる知識等を得ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・「女性の活躍推進」という大きなテーマであったが、「女性が長く働くことができるために」というテーマをメインターゲットに絞ることで、ある程度意見の範囲を絞ったワーキングを行うことができたと考えている。メンバーである職員が事業の内容に係る説明力の向上に取り組み、客観的な評価や意見を基に連携した施策の実施に対する理解を深めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・評価に加え、現在実施している政策の改良あるいは新たな提案を実施する等、新たな施策の実施に向けた手法のひとつとして確立させる取組が必要である。
今後の具体的な取組予定	・横の連携を生み出すことによる効果的な事取組みを進め、ノウハウの確立を図るため、引き続きワーキングの実施に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充					
改革手段	2 見える化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2	重点10	予算編成の過程の公開	予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表する。					・予算編成過程の透明性向上	財政課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表する。				
取組内容	【取組中】 ・令和2年度予算編成において、各部から提出された予算要求書に基づき、一般会計当初予算要求状況として、予算編成方針、当初予算要求額、重点事業要求状況（各部署上位10事業）を令和元年11月29日にホームページに掲載、公表を実施した。 ・予算案と調整理由区分を付した重点事業一覧表を令和2年2月28日にホームページに掲載、公表を実施した。				
取組による効果	・予算編成の過程として各部課の要求状況や新規・重点事業の内容を公表することで、予算編成過程の透明性の向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・計画どおり公表を実施できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P.127)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・より分かりやすく、見やすい公開資料の検討。
今後の具体的な取組予定	・予算編成の過程について、より明確で分かりやすい公開資料にできるよう、さらなる検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	企画政策課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	2 事務事業の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	24

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点11	民間委託の活用	直営で実施している事務事業を民間委託する。					・経費の削減	企画政策課	
民間に委託できる事業の検討				関係各課						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き政策間連携ワーキング等において、官民連携の活用が図られるよう調整を行う。				
取組内容	【取組中】 ・政策間の連携を図ることを目的として、市内関係団体と外部等の視点を取り入れ、事業間の連携等をテーマとして関係各課と民間有識者で構成されるワーキングを行った。				
取組による効果	・女性の活躍推進において、複数の民間企業等の庶務担当者を招聘し、現状や課題等を幅広く意見交換することで、市取組についての参考とした。 ・12月には、東三河地域活性化実行委員会の主催による地域活性化イベントである「こどものまち」を実施し、政策間連携ワーキングの実証実験を行った。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・民間との連携により、効果的に取組むことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ワーキングの実施はもとより、政策間同士の連携及び民間の活用を実践し、さらに取組みを深化させる事により、官民連携の効果的な実施に向けた取組が必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き政策間連携ワーキング等において、官民連携の促進が図られるよう調整を行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	企画政策課							
施策	② 歳入の確保の強化									
改革手段	3 税収などの確保策の強化									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
5	重点12	とよかわ応援寄附金の確保	各種施策を講じることで、ふるさと納税制度による本市への寄附金の増額を目指す。	取組実施				・自主財源の確保 ・定住・交流効果の促進	企画政策課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・クラウドファンディングの他部署展開にあたっては、広く庁内普及が図られるように実用的でわかりやすいノウハウの提供が必要である。				
取組内容	【取組中】 ・従来の返礼品を活用したふるさと納税に加え、引き続きクラウドファンディング（GCF）を2本実施した。 ・平成30年度、令和元年度にわたり行ったGCF（3本）の実証実験結果をもとにマニュアルを作成し、全庁公開した。				
取組による効果	・GCF#2（保育園エアコン設置プロジェクト2019）については100件、11,607,535円、GCF#3（赤塚山公園ポニープロジェクト）については153件、2,132,029円と、GCFを実施したことにより253件、13,739,564円もの支援があった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・GCFの目的は特定財源の確保と事業の事前PRとなる。GCFを行うことによりテレビをはじめ多くのメディアに取り上げられる確率が高まるため、それは今後の施策立案手法のひとつとして役立つものであると考えている。これらを踏まえたマニュアルを作成し、今後は各課主体でGCFを実施する道筋を計画通りつくりることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する外部評価・意見	・クラウドファンディングのPR効果も含めて、目標を超える効果達成度とする。 ・ふるさと納税については、PR不足と感ずるため目標額を決めて計画的にPRを行っていただきたい。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・他部署主体となった場合、GCF実施についてのフォローが必要である。
今後の具体的な取組予定	・環境課主体によりGCF#4（地域猫プロジェクト）を実施予定である。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	2 経営基盤の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3	重点13	債務の削減	毎年の市債借入額は、元金償還額を上限とするとともに、高利債を中心に繰上償還を実施する。					・将来負担の軽減 ・財政の健全化	財政課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・毎年の市債借入額は元金償還額を上限とするとともに、高利債を中心に繰上償還を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・市債借入額を元金償還額以内とすることができ、市債による将来負担の軽減につなげた。 ・将来負担軽減のため、借入条件の見直しを行った。				
取組による効果	・財政の健全化及び償還利子削減による将来負担の軽減につなげる。 借入額 元金償還額 削減額 平成30年度 29億3,620万円 49億4,935万円 20億1,315万円 令和元年度 31億7,240万円 49億 258万円 17億3,018万円				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・他の財源を有効活用し、必要な事業を縮小することなく、市債借入額を元金償還額以内とすることができたため、目標を超える効果達成度とした。 ■市債残高の推移 平成30年度末 429億7,925万円 令和元年度末 412億4,907万円				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・現在の金利状況から繰上償還の実施が難しくなっているため、借入条件の変更など、新たな取組みを行っていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産						主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化							
改革手段	2 施設の見直し及び処分							
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	33

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点14	施設の見直し及び処分	豊川市公共施設適正配置計画*などに基づき既存施設の見直しや処分を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減	財産管理課	
				施設の有効活用や統廃合等の検討・実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき建設工事を実施する。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき、個別計画の未策定の施設所管課には、引き続き策定要請を行うとともに、支援を行う。				
取組内容	【取組中】 ・小坂井地域交流会館（仮称）建設工事に関する事業の周知を行う。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき施設所管課との協議を通じて個別計画の策定を行う。				
取組による効果	・広報等により建設工事の周知を行うことで、小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の理解等が深まるほか、建設工事を実施することで施設統廃合による延床面積の削減が見込まれる。 ・施設所管課の一部で保有総量縮減や施設の長寿命化等を踏まえた計画の策定に取り組んでいる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報等により建設工事の周知を行うことで、小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の一定の理解を得ることができた。また、建設工事の実施による施設統廃合で約51%の延床面積の削減が見込めるため、目標どおりの効果達成とした。 ・施設所管課の一部で保有総量縮減や施設の長寿命化等を踏まえた計画を策定。また既存施設の建替えに合わせて施設統合に取り組めたため、目標どおりの効果を達成した。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P.128)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後、具体的な施設の統廃合を検討する過程で、その施設を利用する市民等をはじめ多方面から様々な意見が示されることが予想されるため、その調整が非常に困難と考える。
今後の具体的な取組予定	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき、引続き建設工事に取り組む。 ・公共施設等総合管理計画の施設類型ごとの基本方針に基づき、個別計画の未策定の施設所管課には、引き続き策定要請を行うとともに、支援を行う。 ・小坂井エリアに続く、新たなモデルエリアとして、一宮エリアにおいて再編施設検討事業を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	34

項目	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点15	市有地や市施設の空きスペースの有効活用と処分	将来的に利用見込みのない市有地の売却を進めるとともに、施設の空きスペースを民間などへ貸付する。					・自主財源の確保 【85,860 千円増】	財産管理課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・具体的な売却可能物件が生じた際には、土地売却の斡旋を宅建協会へ委託するなど、具体的な方法の取り決めを行う。 ・施設の空きスペースについては、基本方針の策定も含め、今後のファシリティマネジメントの取り組みの中で情報収集を行い、効果的な利活用の検討につなげていく。				
取組内容	【取組中】 ・用途廃止により普通財産となった土地に関しては、従前の土地所管課により隣接土地所有者への売却の打診を行うことを原則としている。 ・土地売却及び基本方針の策定に資するため、保有財産の再確認等の作業に着手している。				
取組による効果	・前年度中に売却の打診をした土地について、令和元年度に売却することができた。また、未活用用地を貸すことにより収入を得た。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	85,860		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	65,739	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・収入増加額の実績が収入増加額の予定を下回ったが、売却予定だった物件の売却が概ね出来たため目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 広報、ホームページ及び現地に設置している案内看板のみでは、土地の売却に関する情報発信のツールとしては不十分であると思われる。 ・ 土地の貸付は、幅広い用途を視野に入れた検討が必要と考えられる。
今後の具体的な取組予定	・ 施設の空きスペースについては、基本方針の策定も含め、今後もファシリティマネジメントの取り組みの中で情報収集を行い、効果的な利活用の検討につなげていく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	① トップマネジメントの確立		
改革手段	1 トップマネジメントの確立		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	36

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点16	企画調整会議の推進	市内部における企画調整会議の活用を図る。	>>>>>>>>>>>>>>				・行政の円滑運営	企画政策課	
				企画調整会議の積極的な活用						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も企画調整会議及び企画調整審査会の実施を継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。				
取組内容	【取組中】 - 令和元年度は企画調整会議を1回、企画調整審査会を4回開催した。 - 企画調整会議（公民館等の再編方針について） - 企画調整審査会（ドローンを活用した地域社会の実現に向けた官民連携検討準備会の設置についてなど）				
取組による効果	・市政の重要案件をレベル感に応じて関係各部・課で情報共有することにより、行政の円滑な運営に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・企画調整会議及び企画調整審査会を開催することで、各部・課で情報共有ができ、市の重要な施策について、強力なリーダーシップが発揮でき、トップマネジメントの強化を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・企画調整会議及び企画調整審査会の運営方法について、課題の内容等に応じてより効果的なマネジメントの強化や情報共有が図られるよう弾力的な運用を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	人事課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2	重点17	組織と定員の適正化	組織と人員配置(定員管理)のあり方を検討して実施体制の最適化を図る。					・実施体制の最適化 ・実施体制の強化	人事課	
				組織と人員配置のあり方を随時検討					行政課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞き取り、組織体制の強化につなげる。 ・組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。				
取組内容	【取組中】 ・第5次豊川市定員適正化計画に連動した組織改正が行えるよう、管理職との人事異動ヒアリングを行った。 ・行政課が行う組織改正のヒアリングに人事課も同席し、情報共有を行った。				
取組による効果	・組織体制の需要の明確化と、体制強化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ヒアリングにより組織体制の需要を明確化し、限られた人的資源の中、概ね要望にあった人事異動を行うことができ、組織体制の強化を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・職員数の大幅な増加が見込まれない中、限られた人的資源で効果的に、行政ニーズに応えられる組織体制を整えなければならない。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞き取り、組織体制の強化につなげる。 ・組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点18	総合計画実施計画策定方法の充実	総合計画実施計画策定において、事前評価の結果をより有効に活用できる手法を検討し、充実させる。	取組実施				・より実効性の高い事業展開	企画政策課	
									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す				
取組内容	【取組中】 ・昨年ワーキングを実施した「豊川公園の多機能化」についての実証実験イベント「こどものまち」を12月に実施し、今後の事業展開に係る具体的な課題等を検証した。				
取組による効果	・ワーキングの実施により、事業の実施に具体性を持たせるとともに、連携により効果的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・総合計画実施計画策定において、各課で連携を意識した事業展開の意識づけができた。令和元年度に実施した実施計画の策定において18の連携を生み出すことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	実証実験イベントとして、さらに成果を検証し、豊川市独自のこども中心のイベントとして継続・定着していけると良いと考える。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引き続き事前評価による事業の磨き上げを具体的な施策に結びつけるよう、手法を充実する必要がある。				
今後の具体的な取組予定	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す。				

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	2 評価手法の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3	重点19	施策の成果の見直し	主要施策の成果報告書に成果指標や事後評価等を加える見直しを行う。					・評価過程の明確化	財政課	
事後評価等を加えた資料作成									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 主要施策の成果報告書に成果指標や事後評価を加える見直しを行う。				
取組内容	【取組中】 ・ 平成30年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果の掲載した。				
取組による効果	・ 決算にかかる主要施策の成果報告書の見直しにより、評価過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 平成30年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果の掲載について、より成果がわかるような表現に改めるなど改善を図った。また、当初予算重点事業の公表資料との整合を意識した作成にも努めることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P.128)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 報告書の作成スケジュール及び掲載内容のさらなる検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 総合計画実施計画事業又は各部当初予算重点事業について、より明確で分かりやすい事後評価等ができるよう、さらなる検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	1 人材育成の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点20	職員研修の充実化	人材育成基本方針に沿って、今後、職員研修を充実する。					・時機に合った、必要性の高い学習の提供	人事課	
				人材育成基本方針に沿った職員研修の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・「豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。				
取組内容	【取組中】 ・「豊川市人財育成基本方針」に基づき、職員研修の充実化に取組んだ。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るため、複数の女性職員を対象とし、外部研修を実施した。				
取組による効果	・限られた予算・人員のなかで、行政ニーズに対応する職員の資質向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・それぞれの研修で所期の目的を達成でき、職員の資質向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・「豊川市人財育成基本方針」を周知し、これに基づいて研修を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・「豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 ・女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	2 定員適正化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点21	定員の適正化の推進	第5次定員適正化計画に基づく定員の適正化を推進する。					・人件費の削減	人事課	
				少数精鋭体制の推進						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・第5次豊川市定員適正化計画に基づき、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。				
取組内容	【取組中】 ・第5次豊川市定員適正化計画を指標としつつ、行政需要の増加を勘案し、定員の適正化に努めた。（対計画値：＋9名。対前年比で＋20名） ・人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努めた。				
取組による効果	・限られた人的資源の中で、人材育成施策により、職員の能力向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・令和元年4月1日付の職員数は1,131人であり、第5次豊川市定員適正化計画上の職員数1,122人を9名上回ったが、保育サービスの充実等の行政需要の増加を勘案し、妥当な職員数であると考え。また、フルタイム再任用職員20名と育児休業代替任期付職員4名も活用し、少数精鋭体制を推進することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・第5次豊川市定員適正化計画は、令和2年度までの計画となっているため、次期定員適正化計画を策定する必要がある。次期定員適正化計画において、行政需要を適切に把握し、限られた人材の中、効果的な施策によって行政運営を推進していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・第6次豊川市定員適正化計画を策定し、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	市民課
施策	② 窓口サービスの向上					
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点22	お客様を迷わせない取組の実施	番号発券機の導入を行い、窓口の状況に応じて発券機等への案内を行う。					・窓口サービスの向上	市民課	
				・番号発券機の運用 ・発券機等への案内実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・1番窓口の証明発行受付、会計窓口において、混雑時にスムーズな対応ができるように工夫する。 ・モニターに気づかれぬ方へのさらなる事前記入促進への取組みを工夫する。 ・待ち時間の短縮やわかりやすい案内ができるように継続して取り組む。				
取組内容	【取組中】 ・1番窓口の証明発行受付、会計窓口にお並びいただく列を振り分けるため、ベルトパーティションと案内マットを設置した。 ・待ち人数が増加したときや繁忙期に、職員が待合フロアに出て、お待ちの方からご用件を伺い、必要な手続きのご案内や、疑問に対するご説明等を行った。（フロアマネジャーの配置）				
取組による効果	・1番窓口の証明発行受付、会計窓口にお並びいただく列をベルトパーティション、案内マットで振り分けることにより、職員が振り分ける必要がなくなり、職員は証明発行事務に専念することができ、待ち時間を短縮することができた。 ・フロアマネジャーを配置して、異動届出書の事前記入の案内、窓口のたらい回しの解消、別の受付方法の提案等を行ったことにより、待ち時間を短縮することができたとともに、市民の不安、不満な気持ちを解消することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ベルトパーティション、案内マットを設置したことにより、混雑時においてもスムーズな対応ができたことから、目標どおりの効果達成とした。 ・市民の待ち時間や職員の業務遂行時間を短縮したことのみならず、市民への不安、不満な気持ちを解消することが出来たことから、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

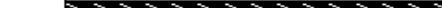
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	良い取組みであり、待ち時間の提示が出来るとさらに良い。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 1 番窓口の証明発行受付、会計窓口において、混雑時にお客様の待つ方法や待ち時間がどれくらいかかるかが不明であったことにお客様から不安、不満がでるケースがあった。 ・ 待合フロアでの案内が不十分なときや、混雑時に職員が待合フロアに出ることができないときがあった。
今後の具体的な取組予定	・ 1 番窓口の証明発行受付、会計窓口において、お客様の待つ方法、待ち時間などを提示できるように工夫をする。 ・ 待合フロアでのフロアマネージャーによる案内を的確に行うため、簡易な案内方法を確立したり、分かりやすい案内掲示板等の工夫をしたりする。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点23	GIS*の活用（工事箇所情報、災害時の情報等の提供）	GISにより工事箇所情報や災害時の情報等を提供する。					・情報公開の迅速化 ・公開情報の確実性確保	情報システム課 関係各課	平成32年度に次期システム運用予定

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	- 引き続き、提供している交通規制箇所の更新を行う。 - 次期G I Sの構築を滞りなく進める。				
取組内容	【取組中】 - 市民公開型G I Sに道路・工事情報や防災情報等を掲載し、市民等への情報提供を行った。 - 現行G I Sの利用期間が令和元年度末で満了となるため、次期G I S更新作業を進めた。				
取組による効果	- ホームページを通じて道路・工事情報、防災情報等の地図情報を市民等へ提供することができた。 - 次期G I S更新に併せシステム統合を行い、地図情報の二重管理を解消し、スムーズ情報提供が行えるような仕組みを構築した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	- 市民公開型G I Sにて道路・工事情報、防災情報等を提供することができたため、目標どおりの効果達成度とした。 - 地図情報の二重管理を解消し、スムーズ情報提供ができるよう次期G I S更新を進めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P. 129)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・令和2年4月にG I S更新しているため、課題等の整理や見直し等を行っていく必要がある。 ・スマートフォンやタブレットでのアクセスが増えることが想定されるため、これらの機器でも見やすいよう検討する。 ・医療・福祉情報に介護の情報以外の福祉の情報も公開できないか検討する。
今後の具体的な取組予定	・システムの課題等を整理し、利便性向上に向けて検討見直しを行う。また、安定的に稼働するよう適切なシステム運用管理を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進					
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点24	業務改善運動の推進	あらゆる手法を活用してアイデアを引き出し、業務改善運動を推進する。					・職員の業務改善意識の向上 ・業務の効率化	行政課	
				カイゼン運動の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きT-1グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。				
取組内容	【取組中】 ・カイゼン運動として、T-1グランプリを実施した。 ・仕事カイゼンに関する啓発・支援を強化するため、カイゼン週間を設定し、他市等の取組み事例について紹介し業務改善への意識の高揚を図った。 ・優秀仕事カイゼンを選出し、表彰を行った。				
取組による効果	・T-1グランプリの取組み件数が174件（前年度の177件）であり、うち「働き方改革」に関する取組みは12件であった。カイゼン週間などにより、仕事カイゼンの推進及び業務改善意識の向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・カイゼン週間などの取組みの結果、T-1グランプリの取組み件数について、前年度に近い件数を推移し、取組み完了件数については、前年度よりも増加した。また、昨年度追加をした「働き方改革」部門の改善取組みも実施されたことから、業務改善意識の向上や業務の効率化を図ることができたと考えられるので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見	マンネリ化を防ぐ努力が必要であり、T-1グランプリを実施するための改善運動にならないようにする必要がある。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・仕事カイゼンの意識は定着し、着実に取組みを実施してきているが、T-1グランプリを実施し7年が経過しており、意識の停滞を防止するため今後も業務改善意識の向上を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続きT-1グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。令和3年度以降については、T-1グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務改善に対する周知・啓発を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	2 職場環境の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点25	職員の働きやすい職場環境の構築	ワーク・ライフ・バランスの推進できる職場環境を構築する。					・円滑な事務の推進によるサービスの向上	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ワーク・ライフ・バランスを推進するためのより効果的な施策について検討し、実施する。 ・平成28年3月に策定された特定事業主行動計画（平成27年度～平成32年度）に基づいた取組を行う。				
取組内容	【取組中】 ・特定事業主行動計画に基づく措置の実施状況の公表、「職員のための子育て応援マニュアル」の周知などにより、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発を行った。 ・「ノー残業デー」、「ゆう活」を実施した。 ・時間外勤務が多い職場に対して、改善を図るよう意識付けを実施した。				
取組による効果	・ワーク・ライフ・バランスに対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ワーク・ライフ・バランスの推進のために効率的に施策を実施し、職員の意識を向上することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度 評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・所属の職員全員が、意識し協力し合える環境とするため、豊川市職員全体が意識改革を進める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ワーク・ライフ・バランスを推進するためのより効果的な施策について検討し、実施する。 ・平成28年3月に策定された特定事業主行動計画（平成27年度～平成32年度）に基づいた取組を行う。 ・次期特定事業主行動計画を策定する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

○取組に対する自己評価

○審議会の意見・評価（外部評価）

○今後の取組に対する改革方針

28

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	都市計画課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		ワークショ ップの活用	密集市街地整備事業において、地元活動団体とワークショップを実施する。					・まちづくりへの市民参加の増加	都市計画課	実施時期未定
				ワークショップの実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。				
取組内容	【調整中】 ・ 前年度に掲げた取組予定内容・目標の通り、牛久保地区において主にハード整備を進めている。ワークショップは、次地区において取組む予定である。				
取組による効果	・ ワークショップを実施していないため、効果はない。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ ワークショップを実施しておらず、効果はないため、評価する内容はないが、次地区に取組む際には、市民が参加しやすいよう整備手法を検討する必要がある。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ 牛久保地区については、ワークショップを実施することにより、まちづくりへの市民参加を増加させることができた。今後は、次地区において、より多くの市民が参加できるよう整備手法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働				主管課	企画政策課
施策	① 市民参画の推進					
改革手段	2 市民参画機会の増加					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		審議会等に関するガイドラインの運用	審議会などの委員選任について定めたガイドラインの運用を行う。					・審議会等の活性化 ・まちづくりへの意欲の醸成	企画政策課	
				審議会等に随時適用						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ガイドラインの適切な運用を周知徹底するとともに、各審議会の委員募集の際には、公募委員を選任していく。				
取組内容	【取組中】 ・ガイドラインの適用状況について調査を実施するとともに周知を行い、職員の理解を深める取組を実施した。 ・豊川市審議会等見える化ガイドラインに基づき、市民公募による審議会委員の登用を引き続き行った。				
取組による効果	・市民公募による審議委員を登用することにより、審議会等の活性化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ガイドラインに基づき各課への働きかけを実施するとともに、各審議会では委員の公募を行い、市民のまちづくりへの参画機会を高めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・審議会の委員募集の際に引き続き公募委員を選任できるよう、ガイドラインの内容について、職員への理解度を深める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ガイドラインの適切な運用を周知徹底するとともに、各審議会の委員募集の際には、公募委員を選任していく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	学校教育課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
4		親子等 参加できる 活動の企 画・実施	親子や家族の 参加できる行政 の活動を企画・ 実施する。					・地域や家庭と 連携した教育 活動の展開	学校教育課	
				「学校の日」を始め各種講座の企画・実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ホームページや広報、案内などの啓発活動を推進する。 ・さらなる内容の充実、学校ごとの特色ある活動を工夫していく。				
取組内容	【取組中】 ・各校において工夫を凝らした行事が催され、市内全36校で学校の日を2回実施することができた。1月実施予定の第3回については、インフルエンザの流行防止という医師会からの助言もあり、学校の日としては実施しなかったが、各学校の実情に応じて、授業の様子等を家庭や地域の方に公開した。				
取組による効果	・第1回、第2回については、来校者数の合計が前年度よりも増加しており、学校の日への関心が高まっている。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・第1回、第2回については、目標どおり達成することができ、学校ごとの特色を生かしていくという観点から、各学校で期日を設定し、活動内容をより充実させているため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・学校の日は今和2年度をもって終了し、3年度以降は「学校公開日」として、各校の実情に応じて期日を設定し、授業や行事の様子を家庭や地域に広く公開していく。
今後の具体的な取組予定	・各校の特色を生かした教育活動を保護者や地域に公開していく（年間2回以上）。 ・学校だよりやホームページで、期日や活動内容を家庭や地域に案内していく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働				主管課	商工観光課
施策	② 市民協働の推進					
改革手段	1 協働の仕組づくり					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		イベントにおけるボランティア活動の促進	イベント(市民まつりなど)へのボランティア参加を促進する。					・ボランティア参加者の増加	商工観光課	
				・各種イベントでの参加促進 ・観光まちづくりボランティア講座の実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市民まつりボランティアについては、現在の取り組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集し、適宜、関係団体との調整に取り組む。 ・観光まちづくりボランティア講座については、登録者が継続して活躍できる場の創出に取り組む。				
取組内容	【取組中】 ・市民まつりボランティアについては、交通安全指導隊、ボーイスカウト、文化協会による駐輪場、会場周辺交通誘導などのボランティア参加を実施した。 ・観光まちづくりボランティア講座については、イベントボランティアの参加だけではなく、広く観光に関わる場の創出として、観光ボランティアガイドの体験と実践講座を実施した。またSNS発信を体験してもらうことを目的の一つとして市内の観光資源を巡るバスツアーを実施する予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止することとした。（参加予定だった人数：18名）				
取組による効果	・市民まつりボランティアについては、おいでん祭2日間において、延べ132名の参加があった。 ・観光まちづくりボランティア講座については、観光ボランティアガイド体験実践講座へ3名の参加があり、御油の松並木資料館の観光ボランティアガイドとして3名とも観光協会に登録をいただいた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市民まつりボランティアについては、必要なボランティア活動などの検討について、調整を進めることはできなかったが、ほぼ例年並みで延べ132名参加者を確保することができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・観光まちづくりボランティア講座については、イベントを含め広く観光に関わる場の創出に取り組む、観光ボランティアガイド体験と実践講座へ3名の参加があり、御油の松並木資料館の観光ボランティアガイドとして3名とも観光協会に登録をいただいたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市民まつりボランティアについては、現在の取り組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集し、適宜、関係団体と調整を行っていく必要がある。 ・観光まちづくりボランティア講座については、登録者や参加者がやりがいを持ち、継続して活躍のできる場を創出する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・市民まつりボランティアについては、現在の取り組みを継続しながら、必要なボランティア活動を収集し、適宜、関係団体との調整に取り組む。 ・観光まちづくりボランティア講座については、引き続き、登録者や参加者がやりがいを持ち継続して活躍できる場の創出に取り組む。（観光ボランティアガイドやSNSによる情報発信など）

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	道路河川管理課 公園緑地課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の仕組づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		アダプトプログラムの推進	民間での管理の促進や町内会などによる公共施設の美化のための組織化を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・市民協働の推進 ・維持管理経費の削減 ・地域の連携の醸成 ・ボランティアの活用	道路河川管理課 公園緑地課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・参加への敷居を感じさせないように、ホームページ、ＣＣネット市政情報、出前講座を通じて、当プログラムに関心を持っていただけるように理解と周知を図り参加を募る必要がある。				
取組内容	【取組中】 ・ホームページや豊川商工会議所月報（メセナ）による市政情報の周知をした。 ・メセナに掲載している案内文を親しみが持ちやすいように変更した。 ・新たに、新規参加を促すため市内の４事業所等へ訪問し、事業所ごとにあった参加方法を提案した。				
取組による効果	・アダプトプログラムの参加要件に関するの問い合わせが増加した。 ・訪問での案内により事業所の参加があった。（１団体）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新たに始めた事業所訪問による一定の効果はあったが、参加団体数が伸びなかった。一方、市政情報の掲載により問い合わせが増え、新規参加の申請があったため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・事業所訪問による参加団体数が伸びなかった原因として、訪問数が少なかったことが考えられるため、事業所訪問を積極的に行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・訪問計画書を作成し、訪問予定管理や事業所周辺の美化状況等をまとめ、訪問数増加を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	市民協働国際課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	2 市民活動の支援		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	14

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		ボランティア・NPO等の人材育成と運営支援	各種講座・研修会等の開催、情報提供及び資金支援などにより活動を支援する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・団体の自立発展 ・団体活動の活性化	市民協働国際課	
			・講座開催による新たな人材の確保 ・NPO法人の運営支援に対する補助金交付等							

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「R1」→「R2」、「R2」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、若者ボランティア体験講座を企画・実践する。 ・引き続き、NPOに対しスキルアップ講座を実施する。 ・引き続き、ボランティア・市民活動体験・養成講座を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・若年層を対象に体験できる26事業から、自分がやりたいボランティアを行う、若者ボランティア体験講座を実施した。 ・NPO法人のスキルアップを目的として、プレゼンテーション力向上講座、写真撮影力向上講座、情報発信ボランティア養成講座の3講座を実施した。 ・市民活動の登録団体に委託して、ボランティアの人材育成を図るため、バランボールエクササイズでボランティア体験講座を実施した。				
取組による効果	・若者ボランティア体験講座では、高校生・大学生の参加者54名に、行政の事業や市民活動団体が主催する事業などを体験してもらったことで、若年層が市民活動等に関心を持つことや参加するきっかけをつくることができた。 ・スキルアップ講座やボランティア養成講座などの市民活動講座を4講座実施し、延べ101名の参加者に市民活動団体の人材育成や市民活動への参加促進を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・若者ボランティア体験講座を始め、NPOスキルアップ講座やボランティア養成講座などを通し、NPO各団体の人材育成や市民活動への参加促進と意識啓発が図れたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・多様なスキルを持った人材を市民活動に生かすことができるよう、ボランティア意識向上と参加へのきっかけに繋がる講座や啓発の取り組みについて検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、若者ボランティア体験講座やボランティア・市民活動の体験、養成講座を実施する。 ・新たに、ボランティア・NPOマンパワー養成講座を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	環境課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		環境保全活動に係る企業などの情報共有	環境をテーマに社会貢献活動を行っている市内・事業所と情報共有を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>				・官民連携による活動の拡大 ・環境目標の実現 ・市内事業所との協働	環境課	
				市内企業などとの情報共有						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・環境保全活動に係る企業などとの情報共有を図り、各企業の活動などを市民に周知する場を提供する。				
取組内容	【取組中】 ・地球温暖化対策の一環とし、緑のカーテンを普及させるため、商工会議所等と共催し、コンテストを実施した。 ・おいでん祭「環境コーナー」で市内各企業の活動などを紹介する場を提供し、市民に広く周知した。				
取組による効果	・共催することで一層の普及推進を図ることができ、夏の省エネルギー対策に役立った。 ・情報発信の場を設けることにより、各企業の活動などを市民に広く周知することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市内企業等と情報交換の機会を設けることにより情報共有を図れたこと及び、情報発信の場を設けることにより、各企業の活動などを市民に広く周知することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・長年継続した緑のカーテンコンテストは普及率向上に寄与したが、参加者が固定されつつあることから、新たな普及啓発事業を計画する必要がある。 ・今後も市内各企業との情報共有化を継続し、市政運営の中で参考となる取組みを積極的に検討していく。
今後の具体的な取組予定	・環境保全活動に係る企業などとの情報共有を図り、各企業の活動などを市民に周知する場を提供する。

具体的取組評価結果票
(令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	介護高齢課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		企業・民間団体と連携した福祉サービスの展開	子育て支援、高齢者・障害者福祉などのサービスを企業・民間団体と連携して提供する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				民間による市民サービスの充実	介護高齢課	
				・開設準備経費の補助 ・地域密着型サービス事業所（介護）の開所	企業・民間団体との連携					

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、豊川市の介護サービス提供体制の維持・充実を図るため、東三河広域連合と連絡・調整を行う。 ・引き続き実施内容の充実や、実施箇所数の増加に努めるため、認知症カフェへの支援を行う。運営費補助を受けていない認知症カフェについても立ち上げや継続支援など、認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターと連携して対応していく。				
取組内容	【取組中】 ・認知症カフェについて、運営経費に対する補助を10箇所実施するとともに、認知症カフェの立ち上げ支援につながる相談対応などを行った。 ・認知症カフェが特定の人のための特別な場所ではなく、地域住民にとって身近な集いの場であることを周知していくため、令和2年2月に社会福祉協議会が実施した「地域福祉活動推進セミナー」にて、認知症地域支援推進員の活動や認知症カフェの様子を紹介するブース展示を行った。				
取組による効果	・地域における認知症についての理解をさらに深めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・認知症カフェの開設数は、目標12箇所に対して10箇所となっているが、認知症カフェの立ち上げ支援につながる相談対応や、認知症の理解促進につながる具体的な取組みが実施できていることから、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・認知症高齢者の増加に伴い、今後も認知症の方やその家族への支援の充実を図るとともに、地域における認知症についての理解を深めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き実施内容の充実や、実施箇所数の増加に努め、認知症カフェへの支援を継続していく。また、運営費補助を受けていない認知症カフェについても立ち上げや継続支援など、認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターと連携して対応していく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	2 大学などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		インターンシップの拡大・充実	大学生を受け入れ、職場体験を実施する。					- 学生の職業意識の向上 - 市政への理解の拡大	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、積極的に学生のインターンシップの受入を行う。				
取組内容	【取組中】 ・各大学のキャリア支援センター等との調整、各課への理解を図るなどし、積極的に学生のインターンシップの受入を行った。				
取組による効果	・学生の職業意識の向上と市政への理解の拡大を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・令和元年度は、名古屋大学、中京大学、愛知県立大学等の学生15名を、行政課を始め14課で受入れることができ、学生の職業意識の向上と市政への理解の拡大を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ インターンシップの受入を積極的に行うために、各課の協力が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 引き続き、積極的に学生のインターンシップの受入を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	学校教育課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	2 大学などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		学校との協働事業の推進	小中学校・高校において、体験や講座などの協働事業を行う。					- 学ぶ機会の充実 - ボランティア意識の向上	学校教育課	
				小中学校での協働による学習支援						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・児童生徒にとってより実りのある機会となるように、各校への呼びかけを継続していく。 ・より多くの大学生の参加を確保するため各機関へ働きかけを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・「学びとふれあい子ども教室事業」で、県内大学へ参加を募集し、応募した学生が、学習活動の支援を行った。 ・各校で工夫した取組みをお願いした。				
取組による効果	・多くの大学生が小学生や中学生とともに活動したり、学習したりする中で、ボランティアの意識を向上させることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・児童生徒の参加数は、昨年度より500名増え、夏休みという学校の授業がない期間に、小中学生にとって学ぶ機会を提供できているため、目標どおりの効果達成度とした。 ・大学の夏休み開始が遅くなってきており、大学生の参加を集めることが難しい状態になってきている。参加者は、教職志望者も多く、実際に児童生徒とふれあい、勉強になったとの感想がたくさんあり、各小中学校の先生方の指導もあり、より高いボランティア意識の向上を得ることができたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・各学校の協力を得てサマースクール実施日をできるだけ増やしたり、大学への案内を増やしたりすることで、大学生の参加を多くしていく工夫をすることが必要である。
今後の具体的な取組予定	・児童生徒にとってより実りのある機会となるように、各校への呼びかけを継続していく。 ・より多くの大学生の参加を確保するため各機関へ働きかけを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像		1 市民・協働				主管課	企画政策課
施策		③ 企業など他団体との連携の強化					
改革手段		3 広域行政の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組						該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		事務事業の共同処理の推進	現行の事務事業や権限移譲により対応する事務事業を広域で共同処理する。 各事務事業で随時共同処理の検討・実施 ・広域連携事業の調査、研究、実施 ・共同処理事務の調整、取組 ・権限移譲事務の調査、研究	>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減 ・人員の削減	企画政策課	
									関係各課	
									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組に係る情報把握に努める。				
取組内容	【取組中】 ・東三河広域連合と連携しながら、事務事業の共同処理について検討及び準備を進める。令和元年度は、森林環境譲与税の活用手法についての調整などを行った。				
取組による効果	・事務を共同で行うことにより、効果的な事業の実施を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・東三河広域連合において、8分野（滞納整理、航空写真作成、社会福祉法人の認可及び監査、障害支援区分認定、消費生活、介護保険、旅券発給、東三河の魅力発信）の事務に係る共同処理を実施している。目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・東三河広域連合と連携しながら情報収集を行い、事務事業の共同処理について検討を進める。
今後の具体的な取組予定	・継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組に係る情報把握に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	1 市民・協働	主管課	企画政策課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	3 広域行政の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	17

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		東三河の 広域連携体制の検討・構築	東三河広域連合と連携し、広域的な課題に対応する行政の広域連携体制の強化について検討、構築する。					・業務対応力の強化 ・市民サービスの向上 ・経費の削減 ・人員の削減	企画政策課	
			・広域連携事業の調査、研究、実施 ・共同処理事務の調整、取組 ・権限移譲事務の調査、研究						関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組に係る情報把握に努める。				
取組内容	【取組中】 ・東三河広域連合において、8分野（滞納整理、航空写真作成、社会福祉法人の認可及び監査、障害支援区分認定、消費生活、介護保険、旅券発給、東三河の魅力発信）の事務に係る共同処理を実施している。				
取組による効果	・行政サービスの水準維持・向上とともに、経費の削減、事務の効率化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事務の共同処理や共同化の取組みは順調に進んでいるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後のさらなる事務の共同化に係る検討について、東三河広域連合を含め関係市町村と慎重に取り組む必要がある。
今後の具体的な取組予定	継続的に実施される会議等において、東三河広域連合の取組に係る情報把握に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	企業立地推進課 商工観光課 農務課
施策	① 地域情報化の推進					
改革手段	1 地域情報化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	18

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		産業情報化	空き工場・店舗や中小企業支援・農作物の情報をICTを活用して発信する。					・地域産業の活性化	企業立地推進課 商工観光課 農務課	
				・空き工場・店舗用地の情報提供 ・中小企業支援施策の情報提供 ・農畜産物の情報提供						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市ホームページによる空き工場用地の情報提供を継続し、積極的な情報収集に努め、新しい情報が提供できるように努める。 ・引き続き現在の取組みを継続するとともに、定期的に開催される会議等において、積極的に情報交換を行い効率的に情報収集ができるように努める。 ・農業市などのイベントでのPRや様々な媒体掲載など閲覧機会を増やす取組みを強化する。				
取組内容	【取組中】 ・空き工場用地の情報を収集し、市ホームページで収集した情報を公開することで、市内産業情報の発信を行った。 ・制度内容と市ホームページURLを市の企業誘致PRパンフレットに掲載し、情報発信の強化を図った。 ・本市における中小企業者向けの施策に係る中小企業支援施策ガイドブックを作成し、関係機関への情報の提供やHPへの掲載を通じて、中小企業者へ情報発信を実施した。 ・情報セキュリティの問題で継続が困難となり、令和元年度をもって「うまとよウェブ」を終了した。				
取組による効果	・空き工場用地の情報と制度内容についての情報を発信をすることができた。 ・工場新增設を検討する企業等からの問合せに繋がり、分譲中工業用地の案内に結び付けることができた。 ・企業立地推進課や関係機関等と連携を図りつつ、中小企業支援に関する情報を一元化することで、効果的に施策の情報発信を実施することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・空き工場用地として掲載していた物件が売却されることとなり、産業の活性化に繋がった。また、市ホームページや企業誘致PRパンフレットにより、空き工場を活用した進出を検討する企業への情報発信ができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・中小企業支援施策ガイドブックでは、中小企業者向けの施策について項目ごとに情報を掲載し内容を分かりやすく記載するとともに、関係機関と共通認識を図りながら積極的に情報発信を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・さらなる活性化を図るためには、企業の操業状況等を情報収集し、空き工場用地の情報を適宜更新していく必要がある。 ・情報を効果的に発信しつつ各種支援施策の積極的な活用を促進することや関係機関等との情報交換により最新の情報を収集することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・市ホームページによる空き工場用地の情報提供を継続する。 ・積極的な情報収集に努め、新しい情報が提供できるように努める。 ・引き続き現在の取組みを継続するとともに、定期的開催される会議等において、積極的に情報交換を行い効率的に情報収集ができるように努める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課
施策	② 広報機能の強化		
改革手段	1 広報機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	19

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		広報とよかわの充実化	毎月発行する広報「とよかわ」の内容を充実させる。	>>>>>>>>>>>>>>>				・広報力の強化	秘書課	
				掲載内容・方法の検討						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・豊川市が国内外に誇るモノづくりを紹介するコンテンツを新設する。 ・図書館の旬な情報などを掲載したコラムを新設する。 ・広報紙の特集やコンテンツの質の向上を図る。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒトを紹介するコンテンツ「モノ・ヒト・シゴト」を新設した。				
取組による効果	・広報「とよかわ」に関する電子市政モニターによるモニタリングの結果、「モノ・ヒト・シゴト」のページについての感想は、「とてもよかった」が14.6%、「よかった」が82.3%となり、概ね良好な評価が得られたため、市民ニーズに沿ったコンテンツ作りを進めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報「とよかわ」に関する電子市政モニターによるモニタリングの結果、「読みにくい」の3.1%（前年度2.3%）に比べ、「読みやすい」が70.8%（前年度51.1%）となり、概ね良好な評価が得られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市民が求める情報の把握に努めながら、定期的な見直しや新たなコンテンツ作りを進めていく必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・広報紙の特集やコンテンツの質の向上を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課
施策	② 広報機能の強化		
改革手段	1 広報機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	19

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		多様なツールを活用した市政情報の発信	ホームページ、SNS、動画等の多様なツールを活用し、市政情報を発信する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・広報力の強化	秘書課	
				ホームページ、Twitter [*] やFacebook [*] 、動画等の活用						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・シティセールスを推進するため、質の高い情報発信を積極的に行う。				
取組内容	【取組中】 ・ホームページの新着記事や各課ページの更新状況を定期的にチェックし、鮮度の高い情報発信を行った。 ・SNSを活用した積極的な市政情報の発信を行った。（Facebook掲載数154件、Twitter掲載数203件、Instagram掲載数157件）				
取組による効果	・市ホームページを最新の状態にすることで、市民に対して、常に鮮度の高い情報を提供することができた。 ・「いいね」や「フォロー」機能を利用することで、利用者との双方向コミュニケーションなどを実現させた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・市ホームページについては、使いやすさやデザイン性が評価され、愛知県広報コンクールで5年連続となる入賞を果たすなど、高い評価を得ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 ・SNSについては、継続的な投稿を行い、令和2年3月末現在、Facebook登録数は3,027件（対前年153件増）、Twitter登録者は2,805件（対前年338件増）、Instagram登録者は4,404件（対前年1,342件増）となるなど、着実にフォロワー数が増加したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・庁内各課が、鮮度の高い情報発信を積極的に行えるように、広報意識の向上に向けた継続的な意識啓発が必要となっている。
今後の具体的な取組予定	・シティセールスの重要な手段の一つとして、SNSの運用を効果的に進める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		文書作成に関するマニュアルの充実	分かりやすい文書や帳票類の標準化を進め、分かりやすさや行政の説明力の向上を図る。	>>>>>>>>>>>>>>>				・分かりやすさの向上 ・説明責任、透明性の拡充	行政課	
				マニュアルの充実化						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・文書事務の手引き等の活用や職員研修の実施により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化に努める。				
取組内容	【取組中】 ・文書事務についての知識と理解を深めるため、職員研修を行った。 ・文書事務の手引きを改訂するとともに、職員へ周知した。				
取組による効果	・職員研修により、職員の文書事務についての知識を深めることができた。 ・文書事務の手引き等の改訂及び活用により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・文書事務の手引き等の活用や職員研修により、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職員への研修については、新たに採用される職員もいるため、文書事務の手引き等を活用し、毎年度継続的に行っていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・文書事務の手引き等のマニュアルを適切に改訂するなどし、それらを活用した職員研修を実施することにより、分かりやすい公文書の作成と文書事務の効率化に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		豊川市の姿の作成・公表	次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。					・分かりやすさの向上 ・施策の認知度向上	財政課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。				
取組内容	【取組中】 ・当初予算公表資料として作成する「予算の姿」に、写真や図を積極的に掲載することで、事業内容などを分かりやすく伝える資料を作成した。				
取組による効果	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できたため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・他市の公表方法なども研究し、より分かりやすい内容に改善していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	生涯学習課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		新たな施策に関する出前講座の開催	主要な新規事業と新たに策定した計画を出前講座メニューとして位置づけ実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>				- 分かりやすさの向上 - 新たな施策の認知度向上	生涯学習課	
				講座の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・利用状況について、生涯学習課で把握後、他課にもフィードバックするなどして相互理解を深めたうえで、新たな施策に関する出前講座開設の可能性を引き続き模索していく。				
取組内容	【取組中】 ・関係各課と密に連携し、新たな施策に関する講座の開設及び、その他講座のリニューアルを実施した。 ・照会をかけ実績報告書の提出を促し、正確な利用状況の把握に努めた。				
取組による効果	・関係各課と密に連携し、新規講座を3件（豊川市GCF「保育園の子どもたちに！エアコン設置プロジェクト」について、高齢者の生活と交通安全、やさしい日本語って何？）開設した。 ・新たな施策に関する講座を開設することで、分かりやすさや認知度の向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・主要な新規事業及び新たに策定した計画を出前講座メニューと位置づけ実施したことで、施策の分かりやすさや認知度を向上させることができたと考えられるので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・行政の分かる化を推進するため、関係各課と密に連携し、出前講座メニューの充実を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・利用状況について、生涯学習課で把握後、他課にもフィードバックするなどして相互理解を深めたうえで、新たな施策に関する出前講座開設の可能性を引き続き模索していく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		情報提供の充実	パブリシティの手引きの周知や広報研修・訓練を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・情報発信力の強化 ・見える化の推進	秘書課	
				・パブリシティの手引きの周知 ・危機管理広報研修等の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続してパブリシティガイドの周知を行うとともに、随時見直しを検討する。				
取組内容	【取組中】 ・パブリシティの積極的な活用に向けて全庁的な周知を図った。				
取組による効果	・メールを利用した記者への情報提供は全庁的に定着しており、情報発信力が強化できている。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・記者発表資料のメール化により全庁的な業務の効率化が進み、記者クラブへの情報提供数が年間466件に上るなど、情報発信の強化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	- 取材価値を高めるため、報道資料の記載内容や表現の質を向上させる必要がある。 - メディア掲載に結びつく有効な報道発表手段を研究する必要がある。
今後の具体的な取組予定	広報意識改革研修会等を開催して、パブリシティガイドの周知や、メディア掲載に結び付く手法等を啓発する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充					
改革手段	2 見える化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		事前評価結果の公表	庁内における評価などの事前評価の結果を公表する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・開かれた市政の実現	企画政策課	
				事前評価の結果公表					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・庁内評価における評価作業及び事業の取組についての実施状況をホームページ上において公開する。				
取組内容	【取組中】 ・これまでに実施した庁内評価に加えて、政策間連携ワーキングの取組内容を公表した。				
取組による効果	・政策の決定に向けた取組を市民に向けて公開することにより、開かれた市制の実現に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・政策間連携ワーキングについて公表できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・公表結果を踏まえて効果的な事業の実施につながるよう、常に実施事業に対するP D C Aの実施に向けて担当課への意識付けが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も継続的に公開することにより、開かれた市制の実現を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4		各種計画策定の公開	各種計画策定の中途の状況を、統一的な体裁で公表する。					・透明性の向上	企画政策課	
計画策定過程の公開									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各種計画策定状況に係る調査及び公開を引き続き実施する。				
取組内容	【取組中】 ・各課に各種計画策定状況について調査を実施するとともに、実施方針に基づき公開を行った。				
取組による効果	・市制の透明性が向上し、見える化の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・実施方針に基づき公開することで、計画策定状況の透明性の向上が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たに策定された計画等について情報発信できるように、各課と情報を共有する必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・今後も現在の取組を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	財政課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
5		「市債四季報」の公開	市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・市政の財政状況の透明性向上	財政課	
				四半期ごとに全会計の市債残高等をホームページに掲載						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。				
取組内容	【取組中】 ・四半期ごとに、全会計の市債残高及び市民一人当たりの市債残高をホームページにて公表した。				
取組による効果	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表することで、市政の財政状況の透明性向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・全会計に係る市債残高の状況を、市民一人当たりの金額に換算するなどして、市民に分かりやすく情報発信し、財政状況の透明性の向上を図ることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 公開形式（四季報の形態）と公開時期の検討。
今後の具体的 な取組予定	・ 今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

期	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
6		情報公開制度の充実	情報公開制度の積極的な取組を図る。	>>>>>>>>>>>>>>				・市政の透明性向上	行政課	
				正確でわかりやすい行政情報の提供						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・情報公開事務の手引きを活用し、職員の情報公開制度への理解を深めるとともに、適切に事務を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・情報公開制度の理解を深めるため、職員に対し研修を実施した。 ・公文書開示請求に対し、情報公開条例に基づき適切に開示決定等を行った。 ・各課等に対し、行政情報の積極的な提供を促した。				
取組による効果	・職員研修により、職員の情報公開制度や事務手続についての理解を深めることができた。 ・制度の適切な運用や積極的な情報提供により、市政の透明性の向上を図ることができた。（開示請求件数46件）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・職員への制度の周知や教育を行うとともに、制度の適切な運用や積極的な情報提供を図り、市政の透明性の向上に資することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・制度の周知・教育については、新たに採用される職員もいるため、毎年度継続して職員研修を実施していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・情報公開事務の手引きを活用し、職員の情報公開制度への理解を深めるとともに、適切に事務を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2	情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③	説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2	見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
7		審議会等の会議の公開	審議会等の会議の公開に関するガイドラインに基づき会議を公開する。	>>>>>>>>>>>>>>				・市政の透明性向上	企画政策課	
				ガイドラインの適用状況の公開					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各審議会等の公開を引き続き実施する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市審議会等見える化ガイドラインに沿って、各審議会等で会議を公開した。				
取組による効果	・市政の透明性が向上し、「見える化」の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・審議会等の見える化ガイドラインにより各課等へ働きかけたとともに、審議会等（豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議等）の会議を公開できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後も引き続き透明性の向上が図られることを目的として、審議会等の会議を公開できるよう、職員に審議会等の見える化ガイドラインを周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
8		会議スケジュールの公開	会議のスケジュールをホームページなどで公開する。					・市政の透明性向上	企画政策課	
ホームページなどで公開									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各審議会等のスケジュールの公開を引き続き実施する。				
取組内容	【取組中】 ・引き続き審議会等のスケジュールについて、市ホームページ内で案内を行った。				
取組による効果	・市の透明性が向上し、「見える化」の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公開して開催する審議会などのスケジュールをホームページで案内することで、市政の透明性向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

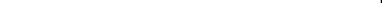
進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後も引き続き透明性の向上が図られることを目的として、会議スケジュールを公開できるよう、各課で会議スケジュールの情報提供を積極的に行っていくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
9		行政手続・制度の公表	行政手続の審査・処分基準や処理期間などを統一的に公開するとともに、各課に説明資料を備え置く。					・公平性の確保 ・市政の透明性向上	行政課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	引き続き担当各課に個別票の内容確認を依頼し、必要に応じてホームページなどの更新を実施する。				
取組内容	【取組中】 - 法令や条例等に基づく手続の審査（処分）基準や処理期間などを整理した個別票をホームページで公開（申請に対する処分：560件、不利益処分：515件）するとともに各課に個別票を備え置いた。 - 法改正等による個別票の追加、廃止及び改正を行った。				
取組による効果	個別票の内容確認を担当各課に依頼し、最新の個別票を公開するとともに各課へ備え置くことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	取組みによる最新の個別票の公開により、公平性の確保や市政の透明性の向上が図られたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・課によって個別票の内容等に違いがあるため、統一された内容となるように取組む必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き担当各課に個別票の内容確認を依頼し、必要に応じてホームページなどの更新を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	2 情報・共有				主管課	行政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充					
改革手段	2 見える化の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
10		外郭団体* に関する 情報公開	外郭団体の経営 状況などを公開 する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・外郭団体の透 明性向上	行政課	
				ホームページで公開					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・外郭団体に関する透明性の向上を図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiune/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会 ・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会				
取組による効果	・外郭団体の透明性が向上し、見える化の推進に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・外郭団体の経営状況を公開することにより、団体の透明性の向上に効果が得られたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 経営状況について引き続き透明性が図られるよう努めることが必要である。
今後の具体的 な取組予定	・ 今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	1 補助金などの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		各種団体の運営費補助金の削減	各種団体の運営費補助を削減し、事業費の補助とする。	>>>>>>>>>>>>>>>				・市費単独補助金の縮減	財政課	
				当初予算編成で随時対応					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各種団体の運営費補助を削減し、事業費の補助とする。				
取組内容	【取組中】 ・令和２年度当初予算編成方針説明会において、各所属に見直しを依頼した。 ・令和２年度当初予算編成において、一部の補助金等を削減した。				
取組による効果	・平和都市推進協議会を始め４件の運営費補助を削減することで、市費単独補助金の縮減が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	794	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・当初予算ベースで、各種団体の運営費補助を４件（794千円）削減できた。金額的には少額であったが、一定件数の削減が実施できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 様々な団体があることから、一律の廃止や削減が難しい状況である。
今後の具体的 な取組予定	・ 今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	1 補助金などの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		サンセット方式の徹底	新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。					・市費単独補助金の縮減・抑制	財政課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。				
取組内容	【取組中】 ・令和2年度当初予算編成方針説明会において、新規補助金における終期設定などを説明するとともに、新規補助金の終期を記載した調書の提出を担当各課に依頼した。 ・令和2年度当初予算編成において、終期の到来した補助金の見直し、廃止を依頼した。				
取組による効果	・新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底することにより、市費単独補助金の縮減・抑制につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	6,915	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・事業内容や進捗状況を確認することで令和元年度末で「障害者就労支援事業費補助金」「私立幼稚園奨励費補助」「クリーンエネルギー自動車購入費補助」の3件の市単独補助金を終了（当初予算ベースで6,915千円削減）できたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・サンセット方式の対象外となっている補助金の取扱い。 ・終期の到来した補助金に関し、各所属が廃止か継続かを判断するための基準設定について検討が必要。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	介護高齢課
施策	① 歳出の最適化					
改革手段	1 補助金などの見直し					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		金銭給付制度の見直し	市単独の現金給付の制度について廃止を含めて見直しを行う。	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後、直ちに敬老金の支給対象年齢等の見直しは予定していないが、県内及び近隣市町村の実施状況を確認しつつ、敬老金のありかたを検討していく。				
取組内容	【取組中】 ・敬老金として満80歳に5千円、数え88歳に1万円、満100歳以上に3万円を支給していたが、平成29年度より満80歳への支給を廃止した。 ・近隣市町村も同様に敬老金の支給の見直しをしており、他市の支給状況等の確認を行った。				
取組による効果	・満80歳の方への敬老金支給の廃止により、歳出の削減ができた。 ・令和元年度実績：12,210,000円 令和元年度（満80歳含む場合）：19,410,000円（満80歳対象者1,440人）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	7,200	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・直ちに敬老金の支給年齢等の見直しは予定していないが、今後の見直しに向けて、令和元年度も引き続き近隣他市の実施状況確認、および代替福祉サービスの検討を行ったため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 敬老金支給の目的の一つである高齢者の所在実態調査という面においては、有効な代替策の実施には至っていない。
今後の具体的な取組予定	・ 今後は他の高齢者福祉サービスを見直す際に、再度敬老金支給対象年齢等を見直しや廃止を検討する必要がある。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	スポーツ課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	2 事務事業の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	24

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		体育施設指定管理者制度の実施 の管募	体育施設に指定管理者制度を適用する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減 【11,158千円減】	スポーツ課	
				体育施設に指定管理制度を適用						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・指定管理者との協定に基づき、適正な体育施設の運営管理を行う。また、来年度からの次期指定管理者の公募にあたって、管理経費の削減と市民サービスの向上が図られるよう選定を行う。				
取組内容	【取組中】 ・基本協定及び年度協定に基づき、指定管理者による管理運営を実施した。また、令和2年度から令和6年度までの指定管理者を、8体育施設と16体育施設に分割して公募した。				
取組による効果	・指定管理者制度の導入により、施設の管理経費が12,882千円削減された。次期指定管理について、基本協定を締結した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	11,158		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	12,882	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・指定管理者制度の導入により、管理運営業務の効率化に伴うコスト削減が図られたことと、公募により次期指定管理者と基本協定を締結したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市職員が施設の実情を十分に把握できるように、指定管理者との間で情報共有を行う必要がある。 ・指定管理者が、適正に施設運営しているか適切な監督を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・基本協定及び年度協定に基づき、指定管理者による管理運営を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	人事課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	2 事務事業の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	24

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		給与制度の見直し	各種給与・手当などを状況に応じて見直す。	>>>>>>>>>>>>>>				・経費の削減	人事課	
				状況に応じて随時見直し						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・平成30年度以降においては、国家公務員等の改正状況を踏まえて、退職手当支給率を引下げる。				
取組内容	【取組中】 ・国家公務員の退職手当制度の改正にならない、平成30年度から退職手当支給率を引き下げた。				
取組による効果	・平成29年度退職手当支給率で計算した場合と比べて、令和元年度においては一般会計予算ベースでは25,460千円を削減した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	25,460	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・退職手当支給率の引下げにより25,460千円を削減したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・民間企業における支給水準との均衡を図っている国家公務員の退職手当制度の改正に準じて、適正な支給水準等を維持するように努める。
今後の具体的 な取組予定	・令和2年度以降においては、引下げ後の退職手当支給率を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	1 新たな収入確保の検討		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	25

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		使用料・手数料の見直し	無料施設などの有料化の検討を含めた使用料・手数料の見直しを行う。	>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保	財政課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・無料施設などの有料化の検討を含めた使用料・手数料の見直しを行う。				
取組内容	【取組中】 ・安定した自主財源の確保のため、使用料、手数料に係る受益者負担の適正化を図ることを目的とし、消費税率改定時に増額分を反映するとともに、改定ルールに沿った形で各施設の経費と収入を積算し、使用料、手数料の一部改定を実施した。				
取組による効果	・自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	19,025	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・消費税率引上げや利用者負担の適正化に伴う使用料等の改定により、約1,902万5千円の収入の増加が見込まれる結果となった。一定の増額が今後も見込まれるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・概ね4年毎の通常の見直しにより、適正な使用料及び手数料の設定を行うこととしているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う公共施設の閉館等が発生しているため、見直しを行うにあたり調査時期を考慮する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・前回の改定が平成28年度であり4年経過するため、通常であれば令和2年度に見直しを行う必要がある。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う公共施設の閉館等が発生しているため、令和2年度の改定は見送り、令和3年度以降、事態の収束時期を考慮しつつ、改定を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	スポーツ課 都市計画課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		体育施設などのネーミングライツ実施	体育施設を始めとする公共施設の命名権を民間企業に数年間単位で付与する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 【120千円増】	スポーツ課 都市計画課	詳細はP27
				・スポンサーの公募 ・ネーミングライツの実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ネーミングライツを希望する企業のニーズの把握に努めるとともに、施設に相応しいスポンサー企業を検討する。 ・命名権者が頻繁に変わること、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取り組みを継続していく。				
取組内容	【取組中】 ・施設に相応しい企業に、事業概要を説明し交渉した。 ・平成31年4月から3年間の命名権取得は決定しており、現在も継続している。				
取組による効果	・自主財源の確保が図られ、施設の有効活用が期待できる。 ・豊川市催事場命名権取得料金収入により、3年間で360千円確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	120		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	120	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ネーミングライツの実施に向け、施設に相応しいスポンサー企業を検討したが実施には至らなかった。 ・豊川市催事場の命名権の取得期間が3年間延長されたため、目標どおりの効果達成度としている。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・他市の実施事例及び企業のニーズ把握に努めること。 ・実施企業と調整を行い、今後も現在の取り組みを継続して実施してもらうことが重要である。
今後の具体的な取組予定	・広告費を削減する企業が多い中で、施設に相応しいスポンサー企業の獲得は現時点で困難のため、引き続き上記課題の情報収集に努める。 ・命名権者が頻繁に変わること、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取り組みを継続していく。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)(別掲)

将来像	3 財政・資産				主管課	スポーツ課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	1 体育施設などのネーミングライツ実施					
体育施設などのネーミングライツ実施における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
1		体育施設のネーミングライツ実施	・・・・・・・・・・・・・・・・				・未定	スポーツ課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ネーミングライツを希望する企業のニーズの把握に努めるとともに、施設に相応しいスポンサー企業を検討する。				
取組内容	【調整中】 ・施設に相応しい企業に、事業概要を説明し交渉した。				
取組による効果	・自主財源の確保が図られ、施設の有効活用が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ネーミングライツの実施に向け、施設に相応しいスポンサー企業を検討したが実施には至らなかった。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・他市の実施事例及び企業のニーズ把握に努めること。
今後の具体的な取組予定	・広告費を削減する企業が多い中で、施設に相応しいスポンサー企業の獲得は現時点で困難のため、引き続き上記課題の情報収集に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産	主管課	都市計画課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
具体的取組	1 体育施設などのネーミングライツ実施		
体育施設などのネーミングライツ実施における別掲		該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
2		催事場のネーミングライツ実施	>>>>>>>>>>>>>>>				・120千円増	都市計画課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・命名権者が頻繁に変わること、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取り組みを継続していく。				
取組内容	【取組中】 ・平成31年4月から3年間の命名権取得は決定しており、現在も継続している。				
取組による効果	・豊川市催事場命名権取得料金収入により、3年間で360千円確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	120		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	120	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市催事場の命名権の取得期間が3年間延長されたため、目標通りの効果達成度としている。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・実施企業と調整を行い、今後も現在の取り組みを継続して実施してもらうことが重要である。
今後の具体的な取組予定	・命名権者が頻繁に変わること、市民に混乱を招かないよう、引き続き現在の取り組みを継続していく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	都市計画課 一宮支所 音羽支所 御津支所 スポーツ課 財産管理課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		公共施設への広告募集	公共施設に企業広告を募集する。					*自主財源の確保【1,160千円増】	都市計画課 一宮支所 音羽支所 御津支所 スポーツ課 財産管理課	詳細はP.27
				豊川市催事場などへの広告募集						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各施設で企業広告を募集し、自主財源の確保を図る。				
取組内容	【取組中】 ・6施設で取組みを実施し、自主財源の確保を図った。（別掲にあるとおり）				
取組による効果	・取組みの実施により、年間1,112千円の財源が確保された。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	1,160		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	1,112	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・6施設の取組みについて、おおむね一定の収入増加額を確保できたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・各施設で継続して収入を確保できるように、企業等への働きかけが必要である。（各施設の課題については、別掲にあるとおり）
今後の具体的な取組予定	・今後も取組みを継続する。（各施設の取組予定については、別掲にあるとおり）

具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)

将来像	3 財政・資産				主管課	都市計画課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
1		催事場への広告募集	>>>>>>>>>>>>>>				・72 千円増	都市計画課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現在の取組を継続するとともに、さらなる自主財源の確保を検討する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市催事場では、平成26年度から3箇所で開催を開始し、実施企業に変更はあるものの、平成31年4月1日から1年間3箇所全ての掲載が決定した。				
取組による効果	・豊川市催事場の広告収入により、72千円を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市催事場の広告は、3箇所の掲載を達成したため、目標通りの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・次年度以降も掲載箇所数が減ることのないように継続的に周知していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・掲載箇所数を増加させるなど、さらなる自主財源の確保を検討する。

具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)

将来像	3 財政・資産				主管課	一宮支所
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
2		一宮支所での広告募集	>>>>>>>>>>>>>>>				・72 千円増	一宮支所	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・一宮庁舎内壁面に掲示する企業広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・一宮庁舎内壁面に企業広掲示し広告料収入を得た。 2,000円×12か月×3枠				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・壁面企業広告3枠の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 今後も現在の取り組みを継続する。
今後の具体的な取組予定	・ 今後も継続的に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	音羽支所
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
3		音羽支所での広告募集	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・庁舎の壁面に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・庁舎の壁面に有料広告を掲示し、広告料収入を得た。 2,000円×12か月×3箇所				
取組による効果	・広告料収入による財源が確保できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁舎の壁面3箇所の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たな広告主の発掘について検討する必要がある。 ・現在の広告主に継続して広告を掲載してもらうよう理解を求める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	御津支所
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
4		御津支所での広告募集	>>>>>>>>>>>>>>>				・72 千円増	御津支所	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・庁舎の壁面に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・庁舎の壁面に有料広告を掲示し、広告料収入を得た。 2,000円×12か月×2か所				
取組による効果	・広告料収入による財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	48	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁舎入口の壁面に3か所掲示を予定していたが、1か所の掲示継続がなくなり2か所の広告料収入となったが、おおむね一定の収入増加額を確保できたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 新たな広告主の発掘について、検討する必要がある。 ・ 現在の広告主に継続して広告掲載してもらう必要がある。
今後の具体的な 取組予定	・ 現在の広告主に継続してもらうと共に新たな広告主の発掘に取り組む。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	スポーツ課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
5		武道館などの市内体育施設での広告募集	>>>>>>>>>>>>>>>				・72 千円増	スポーツ課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・本制度の周知を図り、残りの掲載枠への広告掲載を進める。				
取組内容	【取組中】 ・広告費を削減する企業が多い中でのスポンサー企業の獲得に努め、広告募集を行い、3枠のうち2枠の広告掲載が確保できた。				
取組による効果	・自主財源の確保が図られ、地域経済の振興が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	48	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市武道館内壁面広告募集の実施により、自主財源の確保を含め、広告掲載による地域経済の振興が期待できるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 広告費を削減する企業が多い中で、継続掲載にあわせ新規掲載スポンサー企業の獲得が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 本制度の周知を図り、残りの掲載枠への広告掲載を進める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	財産管理課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	2 公共施設への広告募集					
公共施設への広告募集における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
6		市役所での広告付番号案内表示システム等設置事業者の募集	>>>>>>>>>>>>>>>				・800千円増	財産管理課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 広告主募集制度の充実を図るため、新たな広告主の発掘など、市民サービスの向上を図るための自主財源の確保を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・ 企業広告放映を含んだ市民課窓口番号案内表示システムと正面玄関行事モニター・行政モニターの設置及び企業広告入り公共施設案内看板の設置を公募により実施している。				
取組による効果	・ 庁舎にかかる行政財産目的外使用料として、800千円の歳入を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	800		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	800	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 目標どおり歳入を確保したので、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・昨今の経済状況により広告費を削減する企業が多い中で、自主財源を確保するために広告方法などを工夫し、企業広告等の募集を強化する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・新たな広告媒体の発掘など、更なる自主財源の確保を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		公 用 車 へ の 広 告 募 集	支所の公用車の側面に掲示する 広告主を募集し、自主財源の 収入増を図る。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 【168千円増】	一宮支所 音羽支所 御津支所 小坂井支所	
				広告掲載						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 公用車の側面に掲示する有料広告を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・ 公用車に有料広告を掲示し、広告収入を得た。 2,000円×12か月×7台＝168,000円				
取組による効果	・ 広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	168		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	168	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 一宮支所、音羽支所、御津支所、小坂井支所について、公用車計7台の広告料収入が確保できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たな広告主の発掘について検討する必要がある。 ・現在の広告主に継続して広告を掲載してもらうよう理解を求める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	清掃事業課 企画政策課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	2 広告主募集制度の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4		新たな広告収入の獲得	新たな媒体への広告掲載を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保 【150千円増】	清掃事業課 企画政策課	詳細はP.27
				広告掲載						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ごみカレンダーへ広告掲載主を募集し、広告料収入を得る。 ・引き続き広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・ごみカレンダーへの広告掲載を実施し収入増を図る。 ・乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載を実施した。				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。 ・自主財源の確保を行い、市民サービスの向上に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	150		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	126	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ごみカレンダー（30千円×3口で90千円）へ広告掲載したため目標どおり効果達成度とした。 ・前年掲載した事業者へ個別に連絡を行い、掲載事業者の確保に努めたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・引続き掲載事業者が確保できるように努める必要がある。 ・掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。 引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	清掃事業課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	4 新たな広告収入の獲得					
新たな広告収入の獲得における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
1		ごみカレンダー等への広告掲載	>>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ごみカレンダーへ広告掲載主を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・ごみカレンダーへの広告掲載を実施し収入増を図る。				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	90		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	90	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ごみカレンダー（30千円×3口で90千円）へ広告掲載したため目標どおり効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・引続き掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)(別掲)**

将来像	3 財政・資産				主管課	企画政策課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	2 広告主募集制度の充実					
具体的取組	4 新たな広告収入の獲得					
新たな広告収入の獲得における別掲					該当ページ	27

番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
2		乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載	>>>>>>>>>>>>>				・60千円増	企画政策課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・乳幼児向け東三河地域公共施設無料開放案内チラシ及びポスターへの広告掲載を実施した。				
取組による効果	・自主財源の確保を行い、市民サービスの向上に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	60		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	36	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・前年掲載した事業者へ個別に連絡を行い、掲載事業者の確保に努めたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き積極的に広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	企業立地推進課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		企業誘致の推進	各種優遇策の活用や誘致活動を展開し、企業を積極的に誘致する。					・自主財源の確保 【65,857千円増】 ・立地企業の増加 ・雇用の創出	企業立地推進課	
				企業誘致優遇制度などの実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・企業立地優遇制度を継続する。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続する。 ・産業展への出展や情報交換会の開催等を通じた情報発信活動を行う。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・企業立地優遇制度（企業立地促進制度、市内企業再投資促進補助金、御津１区第２期分譲用地企業立地支援制度）を継続した。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続した。 ・産業展出展や情報交換会を開催し、企業誘致及び情報発信活動を継続した。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を実施した。				
取組による効果	・新たな企業進出により、自主財源の確保や雇用機会の創出につながられた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	65,857		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	62,188	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成26年度に完成した大木地区工業団地をはじめとする市内工業団地に優遇措置の認定を受けた進出企業が順次操業を開始しており、固定資産税の増額につながっている。令和元年度においても御津１区第２期分譲用地企業立地支援制度等の活用により企業が御津１区工業団地の土地の購入を決めており、また、市内企業再投資促進補助金の活用により企業が投資を行うなど企業立地優遇制度の継続は有効であり、自主財源の確保や雇用機会の創出につながるものであるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市外企業への誘致活動を積極的に行うため、外部機関等の活用や企業訪問等により情報収集に更に注力する必要がある。 ・企業誘致における情報発信活動はシティセールスにも繋がるため、関係各課との連携により相乗効果が得られると考える。
今後の具体的な取組予定	・企業立地優遇制度を継続する。 ・企業誘致情報提供報奨制度を継続する。 ・産業展への出展や情報交換会の開催等を通じた情報発信活動を行う。 ・新規工業用地開発に向けた調査・調整を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	収納課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税収などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		差押え物件のインターネット公売等の推進	差押えた物件をインターネット等を活用した公売により処分する。					・自主財源の確保 【2,000千円増】	収納課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	滞納処分により確保された差押財産のうち、インターネット公売に適した財産については、随時公売を執行する。				
取組内容	【取組中】 ・平成31年度中に不動産5件、自動車2件の差押を行い、公売を含めた折衝段階である。また、搜索を13件行い、差押に値する財産についてはインターネット公売を行った。				
取組による効果	・不動産公売2件、出資金公売3件、インターネットによる公売4件を行い、自主財源を確保することが出来た。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	2,000		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	6,141	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・滞納処分により確保された差押財産の公売について、適切な時期に執行することができ、平成31年度中については折衝段階のため公売執行には至っていない物件についても、今後の折衝において完納見込みがない場合は、来年度以降適切な時期に公売を執行するため、継続的な取組として進めているため、目標を超える効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ヤフーによるインターネット公売が令和2年度で終了するため、検索で発見される財産の公売方法について、検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・滞納処分により確保された差押財産について、随時公売を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	財産管理課
施策	② 歳入の確保の強化					
改革手段	3 税収などの確保策の強化					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		不用物品のインターネット公売の推進	不用となった物品の整理を行い、売却可能なものについて、インターネットで売却する。	>>&						

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新たな不用物品（学校で不用となった備品等）の掘り起こしを行い、更なる自主財源の確保に努める。				
取組内容	【取組中】 ・各課から出てくる物品不用決定通知書の伺いを見て、書面上使えそうなものがあれば、現物を見た上で、インターネット公売による売却が判断している。				
取組による効果	・令和元年度はインターネット公売に適する物品が乏しく、自主財源の確保に至らなかった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	50		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	0	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	1点	目標に至らない効果達成
取組に対する自己評価	・不用物の掘り起こしが出来ず、インターネット公売に至らなかったため、目標に至らない効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 不用物品の発掘に苦慮している。事務手続きに労力が必要となる一方、高額落札が期待できる物品がない。 ・ 令和3年3月末をもって、ヤフー官公庁オークションのサービス終了が予定されている。
今後の具体的な取組予定	・ 新たな不用物品(出先機関で不用となった備品等)の掘り起こしを行い、更なる自主財源の確保につとめる。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	市民税課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税込などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4		個人住民税の特別徴収の徹底	給与所得者の個人住民税の特別徴収を徹底する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保	市民税課	
				特別徴収の徹底						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・従業員3名以上の事業者で特別徴収未実施の事業者を特別徴収義務者として強制指定を行う。				
取組内容	【取組中】 ・従業員3名以上の事業者で特別徴収未実施の事業者を特別徴収義務者として強制指定した。また、特別徴収を猶予した事業者において、猶予理由が適当でない事業者に特別徴収制度への理解と協力を求める勧奨を行っている。				
取組による効果	・特別徴収義務者数は令和元年度10,148者で、平成27年度の6,913者と比較し、3,235者増加した。(参考値 平成30年度から137者増) ・特別徴収の納税者数は令和元年度が67,693人(給与所得の納税者数76,068人)で、平成27年度の54,785人と比較し12,908人増加した。(参考値 平成30年度から1,449人増) ・特別徴収率(給与所得者における特別徴収による納税義務者の割合)は令和元年度が88.99%で平成27年度の77.24%と比較して11.75%増加した。(参考値 前年特徴率88.93%。0.06%増)				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・特別徴収義務者数は増加し、特別徴収率も上昇している。普通徴収とする適切な理由がない事業所に対し、一定の基準に基づいて確実に特別徴収義務者として指定を行うことができたことから目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市外特別徴収義務者の特別徴収税額納入における不便さ。 ・マイナンバー制度の導入による特別徴収義務者の特別徴収事務に対する負担感の増加。 ・愛知県主導の特別徴収県下一斉指定実施の予定がない。
今後の具体的な取組予定	・特別徴収義務者に対する「地方税共通納税システム」の利用率向上を目指した啓発を実施する。 ・特別徴収税額の納付チャネル拡大の検討。 ・外国人の出国に伴う退職時一括徴収の促進等、徴収率向上のための制度啓発を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	1 会計手法の検討		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	29

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		発生主義 会計の導 入	新公会計制度に 基づく、発生主 義会計を一般会 計などにも導入 し、財務諸表を 分析して活用す る。					・資産、償却、キヤッシュフローの明確化 ・企業経営的視点の強化	財政課	
				財務諸表の作成、公表						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新公会計制度に基づく、発生主義会計を一般会計などにも導入する。				
取組内容	【取組中】 ・団体間を同じ物差しで比較することのできる統一的な基準による財務書類等の整備を進めた。 ・外部研修への参加等により、情報収集並びにスキルアップを図った。				
取組による効果	・資産、償却、キャッシュフローの明確化ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公表3年目ということもあり、前年度比較などの経年分析も含めながら予定通りに年度末公表できた。また、外部研修への参加による情報収集等も含め、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 作成する財務書類の活用方法について検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 経年分析や類似団体との比較をはじめ、「作る」から「使う」公会計へ向かって、引き続き他団体の先進事例を参考に、本市の今後の対応方法を検討する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	下水管理課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	1 会計手法の検討		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	29

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		下水道事業の 地方公営企業の適用	地方公営企業法を適用することで、事業経営の健全化と透明性の向上を図る。	資産調査、会計システムの構築、関係部局との調整 企業会計移行				・経営状況、財務状況の明確化	下水管理課 下水整備課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・下水道職員研修を活用して企業会計に関する知識の習得を続け、資産調査や財務諸表作成業務等の運用フロー作成を進める。				
取組内容	【取組中】 ・複式簿記、固定資産関係、決算書作成等の研修を受講した。 ・本市水道・病院事業や他市の運用等を聞き取り、職員の知識習得を図った。 ・経営に関する全体的なスケジュールを作成した。 ・企業会計に合わせた決算や固定資産に係る計算ツールを作成した。				
取組による効果	・職員の企業会計に関する知識の習得やツールの作成により、企業会計の安定運用ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・予定通り企業会計に移行し、概ね問題なく企業会計の運用がきているため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・経営改善策の実施。経営関係業務マネジメントの確立が必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き下水道職員研修を活用した知識の習得、中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」の作成、マネジメント体制の検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	2 経営基盤の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		財 政 計 画 の 策 定	本市の将来に渡る財政計画を策定する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・将来を見据えた計画的な財政運営	財政課	
				中期財政計画の策定、公表						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「R1」→「R2」、「R2」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・本市の将来に渡る財政計画を策定する。				
取組内容	【取組中】 ・中期財政計画（令和２年度～令和６年度）を令和元年７月に策定し、議会への配付及び公表を行った。				
取組による効果	・本市の将来に渡る財政計画を策定することにより、将来を見据えた計画的な財政運営につなげる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・当初予算を基準年度とした向こう５年間の推計を行い、将来に渡る財政の姿や運営上の課題を明らかにすることで、身の丈にあった財政規模による安定した財政運営を実現することを目的とした計画を策定することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地方公共団体を取り巻く環境、税制改正及び市の財政状況等の変化に対応するため、毎年度ローリング方式による適正な見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	行政課 会計課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	2 経営基盤の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		外部アドバイザーの活用	公認会計士による経営状況の分析を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>				・経営分析を活用した財政の健全化	行政課 会計課	
				アドバイザーによる経営分析						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	- 引き続き公募により指定した公共施設の指定管理者の経営診断を継続して行うとともに、税理士の専門的見地からのアドバイスを受けながら経営状況の分析を行う。 - 公認会計士の専門的見地からのアドバイスを受けながら、財務状況の安定している金融機関で公金の運用を行う。				
取組内容	【取組中】 - 公募により指定した公共施設の健全な管理運営のため、指定管理者の直近3年間の決算報告書等をもとに、公認会計士に経営状況等の分析を依頼した。 - 公金運用先金融機関選定の参考資料とするため、公認会計士に公金運用先金融機関の財務状況の分析を依頼した。				
取組による効果	- 公募により指定した公共施設の財政及び管理運営の健全化に寄与することができる。 - 財務状況の安定している金融機関に公金を運用することができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	- 公募により指定した公共施設の指定管理者の経営状況等の分析を実施し、施設の財政及び管理運営の健全化に寄与することができたため目標どおりの効果達成度とした。 - 予定どおり財務状況の分析を実施し安全に公金の運用を行うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・経営基盤強化のため、外部アドバイザーによるリスク管理を引き続き行う必要がある。 ・財務状況の安全な金融機関へ公金を運用するために、引き続き外部アドバイザーによるリスク管理を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き公募により指定した公共施設の指定管理者の経営診断を継続して行うとともに、税理士の専門的見地からのアドバイスを受けながら経営状況の分析を行う。 ・今後も継続して公金運用先金融機関の財務状況の分析依頼を行い、会計士の専門的見地からの助言を受けながら公金の運用を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	財政課 水道業務課
施策	③ 財政健全化の推進					
改革手段	2 経営基盤の強化					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	30

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4		預金の効率的な運用	定期預金との運用比較を行い、債券運用を検討・実施する。					・自主財源の確保	財政課 水道業務課	
				債券運用の検討・実施		会計課				

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・定期預金との運用比較を行い、債券運用を検討・実施する。 ・財源の確保のため債券購入のための予算措置をする。				
取組内容	【取組中】 ・基金の運用において、定期預金との運用比較を行いつつ、「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」の一部改正を実施した。また、所有債権の売却による利益確保の検討を行ったが、基準上、入れ換えが必要であることから利益が増えないと判断し入れ換えを行わないこととした。 ・定期預金利率の低下を鑑み余剰資金の運用方法について、近年のキャッシュフローを解析し、投資先及び投資額の検討を行うとともに、予算化し債券を購入した。				
取組による効果	・自主財源の確保ができる。 ・債券（投資額2億円：愛知県20年債 年率0.288%）を購入するとともに、第1回目の利鞘を受取り自主財源の確保することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	288	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・昨今の金利情勢を踏まえ、これまで行って来なかった債権の入れ換えの検討を行った。基準上の条件により、結果として入れ換えを行っても利益が増えないことから見送ったが、現状の債権運用に関する問題点を整理することができたことから、目標どおりの効果達成度とした。 ・債券を購入するとともに、第1回目の利鞘を受取り自主財源の確保することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・債券運用期間の超長期対応や購入可能債券の拡大など、安全性を前提とした運用をする中で最大限の経済性を発揮できるよう取り組んできたが、今後は借入額との相殺や入れ換えを要件としない債権の売却等にも配慮しながら適正な運用に努める必要がある。 ・試算表及びキャッシュフローを注視するとともに、更なる自己財源の確保を目指す必要がある。
今後の具体的な取組予定	「豊川市公金の保管、管理及び運用基準」に基づき、運用メリットが見込まれる場合は、今後も運用を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	3 予算編成の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	31

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		部 枠 配 分 項 目 の 見 直 し	枠配分項目の見直しにより、真に必要な事業に予算配分する。	>>>>>>>>>>>>>>				・より適切な予算配分の実現	財政課	
				随時見直し						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 枠配分項目の見直しにより、真に必要な事業に予算配分する。				
取組内容	【取組中】 ・ 予算編成方針における枠配分項目決定時に、前年度予算編成時の問題点などを考慮し、時点修正を実施した。 ・ 一般財源要求限度額の設定では、通常枠の前年度当初予算に対する乗率を1.00とするも、労務単価の上昇等を考慮し、抑制枠の乗率を1.01とした。				
取組による効果	・ 予算編成方針における枠配分項目の見直しにより、適切な予算配分の実現につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 枠対象経費については、一般財源要求限度額の範囲内で各課からの予算要求を実施できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 予算総額における枠配分対象額の比率が低く、枠配分効果が限定的となっている。現状以上の効果を出すためには、配分項目の拡大など時点修正以上の見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 枠配分項目の時点修正を継続しつつ、枠配分方式自体の見直しを今後検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	1 公共施設の長寿命化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	32

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		公共施設 の長寿命 化の推進	公共施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化を図る経営管理の手法であるファシリティマネジメント*を導入する。 ・予防保全、計画保全の実施 ・整備量の効率化、平準化に向けた予算編成					・経費の最小化、効用の最大化 ・支出予算の平準化	財産管理課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき建設工事を実施する。 ・劣化調査を実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成する。また、工事優先度から改修工事等として予算編成を行う。				
取組内容	【取組中】 ・地域住民の要望等を取り入れた小坂井地域交流会館（仮称）実施設計の内容に基づき、建設工事に取り組む。 ・劣化調査は、対象施設273棟の調査を完了（延実施数439棟）し、その調査結果を基に工事優先度を作成し、40箇所の改修工事等として約13.6億円の予算編成を行った。				
取組による効果	・広報等により建設工事の周知を行い、小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の理解等が深まった。 ・劣化調査や工事優先度の作成を通じて、施設の日常管理や事後保全から予防保全に対する職員の意識が向上した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報等により建設工事の周知を行うことで小坂井地域交流会館（仮称）に対する地域住民の一定の理解を得ることができたため、小坂井地域交流会館（仮称）の建設工事は、目標どおりの効果達成度とした。 ・各課の要望等に捉われず劣化調査に基づいた結果から工事優先度の高い施設の改修工事等の予算編成を行ったため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 建設工事期間中の進捗状況を地域住民に啓発活動等で示す必要がある。 ・ 施設完成後の地域住民との関わり方等について議論を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 小坂井地域交流会館（仮称）実施設計に基づき引続き建設工事に取り組む。 ・ 劣化調査を実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成する。また、工事優先度から改修工事等として予算編成を行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	企画政策課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	2 施設の見直し及び処分		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	33

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		公共施設の広域利用推進	同種の複数施設と他市町村の施設とを相互利用して本市の施設のあり方を見直す。					・経費の削減	企画政策課	実施時期 未定
				広域連携の取組にあわせ随時見直し・検討					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ファシリティマネジメントと連携しつつ施設のあり方を見直すとともに、他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。				
取組内容	【調整中】 ・引き続き他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。				
取組による効果	・施設に係る運営及び維持経費の削減が見込まれる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ほの国パスポートにより公共施設の相互利用が行われており工程どおりに進捗しているため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・本市のファシリティマネジメントの取組とあわせて、今後の施設のあり方について検討を実施したうえで広域的な調整を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も他市町村と連携し、広域的な施設の相互利用を継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	建築課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		老朽化した市営住宅の整理統合	老朽化している市営住宅から入居者を既設住宅へ移転させ、住宅を廃止する。	>>>>>>>>>>>>>>>				・市営住宅入居者の安全確保 ・経費の削減	建築課	
				旧音羽町・旧御津町内の住宅入所者の移転						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・令和元年度から３年間で、萩住宅入居者の移転事業を着実に進める。平成30年度に移転完了に至らなかった、みなと住宅１戸について移転完了を目指す。				
取組内容	【取組中】 ・入居者を対象に調査を行い、移転先の希望や移転時期などを調整し、条件があったところから順次移転をさせている。 ・戸別訪問等を行い、移転に向けての相談を行っている。				
取組による効果	・令和元年度までに富士見台住宅７戸中７戸、みなと住宅９戸中９戸、萩住宅22戸中６戸の移転が完了した。 ・令和２年度中の移転予定戸数は、萩住宅８戸である。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30度の移転完了に至らなかった、みなと住宅は全９戸中９戸の移転完了となった。萩住宅も全22戸中６戸（27.27％）の移転が完了し、令和３年度の移転完了に向けて目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・移転対象者の中には、本人の個人的な理由等で移転の交渉が難航している入居者がいる。
今後の具体的な取組予定	・萩住宅入居者については、引き続き訪問等を行い、令和３年度までに残りの入居者の移転を完了させるとともに、入居者が退去した住棟について順次解体する。移転が完了した、みなと住宅の住棟を解体する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		借地の返還・買取	引き続き借用するか、返還するか、購入するかを再検討する。					・借地料の削減	財政課	
				取組実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き借用するか、返還するか、購入するかを再検討する。				
取組内容	【取組中】 ・平成30年度以降の借地料の見直しのため、担当課ヒアリング等を経て、引き続き借用する以外の方向性として「①令和2年度までに実施を見込むもの」「②長期的な視点で実施を見込むもの」「③今後の方向性等を検討したもの」の3つの方向性を得ることができた。				
取組による効果	・借地料の削減が期待される。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・土地所有者との交渉や県の事業進捗に左右されるなど、外的要因により進捗が異なるものの、一定の方向性を示すことで、今後も引き続きゴールを意識して取り組むことができるようになったため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・土地所有者との交渉や県の事業進捗などの外的要因に呼応して進めるとともに、ファシリティマネジメント推進事業において策定される各計画にも配慮して事業を実施していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今回の検討結果に基づいて関係者と調整実施していく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産				主管課	水道整備課
施策	④ 公有財産の最適化					
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4		水道施設の統廃合	効率的な施設利用を図るため、施設の統合・廃止を行う。					・経費の削減 ・水道水の安定供給	水道整備課	
				各施設の統合・廃止						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・上千両ポンプ所の移設工事を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・移設工事設計業務委託を行った。				
取組による効果	・移設工事完了後、順次老朽化した施設の廃止を行い経費を削減できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・上千両ポンプ所移設工事の準備は計画通り進んでいるため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 廃止した施設の撤去を計画的に進める必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・ 老朽化施設を廃止する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	4 維持管理コストの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	35

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		電力自由化による電力契約の変更	電力の自由化により、安価な電力へ切り替える。	>>>>>>>>>>>>>>				・電気料金の削減 【34,876 千円減】	財産管理課	
				供給先の切り替え、検証						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。				
取組内容	【取組中】 ・新電力事業者との調整により令和元年度以降もメリットを出すため、中部電力と比較し年間51,582千円の電気料金を削減した。				
取組による効果	・中部電力との電気料金比較は、令和元年度の予定では、34,876千円の削減であったが、令和元年度実績については、51,582千円の削減となり、削減効果が表れた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	34,876		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	51,582	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・基本料金の引き下げによる効果は、令和元年度電気料金の削減予定が34,876千円に対して、実績は51,582千円であり、16,706千円上回り、目標を超える効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・今後、電力事情が大きく変化していくことも予想されるため、随時、電力情勢を注視していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	3 財政・資産						主管課	環境課
施策	④ 公有財産の最適化							
改革手段	4 維持管理コストの見直し							
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組							該当ページ	35

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		再生可能エネルギーや新エネルギー・省エネ設備の導入	太陽光発電システムや蓄電池などの導入、LED照明設備への変更を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>				・節電による経費の削減 ・CO2排出抑制	環境課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新設、建替、増築にあわせた太陽光発電システムや省エネタイプの照明設備の導入を進める。（具体的な計画は未定）				
取組内容	【取組中】 ・市内の道路照明灯の一括LED化。（リース方式：H29～R9年度契約） ・市内中心市街地の街路灯の一括LED化。 ・市内都市公園の照明灯の修繕に伴うLED化。				
取組による効果	・照明灯などをLED化することにより、消費電力が削減され、コスト削減ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・省エネタイプの照明設備(照明灯などのLED化)を導入することにより、消費電力が削減されコスト削減できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 太陽発電システムや蓄電池、LED化などの導入には多額の費用が必要となる。 ・ 省エネタイプの照明設備は、照明設備単独でのコスト削減量を数値化することが非常に難しい。
今後の具体的な取組予定	・ 引き続き、新設、建替、増築にあわせた太陽光発電システムや省エネタイプの照明設備の導入を進める。（具体的な計画は未定）

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	① トップマネジメントの確立		
改革手段	1 トップマネジメントの確立		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	36

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		経営方針の構築	次年度以降の行政経営に関する方針を明確化し、総合計画実施計画や予算編成等に反映する。					・意思決定の明確化	財政課 企画政策課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現況や推計を踏まえ、次年度以降の行政経営に関する方針を明確化し、総合計画実施計画や予算編成等に反映する。				
取組内容	【取組中】 ・平成30年度決算を基準年度とする令和6年度までの財政収支の推計方法を検討し、作成及び各種計画へ反映した。 ・令和元年度当初予算を基準年度とする令和6年度までの財政収支の推計方法を検討し、中期財政計画を令和元年7月に策定した。				
取組による効果	・財政収支の推計方法を作成し、計画に反映することで、経営方針が構築され、意思決定の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・総合計画実施計画の策定など各種計画に反映できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地方公共団体を取り巻く環境の変化により、財政状況も大きく変わることが予想されるため、毎年度、ローリング方式による見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・毎年度、ローリング方式による見直しを行い、今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	行政課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		組織・機構の改正	現組織の問題点や社会情勢に適合した組織のあり方を検討し、組織体制の見直しを適宜実施する。	>>>>>>>>>>>>>>				・組織の適正化 ・事務効率の向上	行政課	
			現組織の問題点や社会情勢に応じた見直しを適宜実施						関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	各課における問題点、課題及び組織改正の必要性について把握に努め、必要に応じて組織改正を行う。				
取組内容	【取組中】 - 令和2年度から1室増加し、13部49課110係4支所1室の組織とした。 - 八幡駅周辺地区の都市基盤整備に関する事業を推進し、複数の部署が横断的に係わるまちづくりに関する事業について、迅速かつ適切に推進するため、都市整備部に「八幡駅周辺地区まちづくり推進室」を新設した。				
取組による効果	「八幡駅周辺地区まちづくり推進室」を新設することで、八幡駅周辺地区の都市基盤整備の効果的な推進を図ることができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	事務事業の内容を踏まえ、必要に応じた組織・機構の改正を実施することにより、組織の適正化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・地域主権改革や権限移譲による事務事業の増加への対応など本市の取り巻く環境の変化に対応できる組織改正や定員適正化計画に連動した組織改正を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・各課に対して組織改正についての調査を実施し、各課における問題点、課題の把握に努め、必要に応じた組織改正を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	人事課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		横断的組織の拡充・整備	政策研究活動や庁内プロジェクトといった横断した組織を拡充・整備する。					- 課題対応の迅速化 - 困難課題への対応強化	人事課	
				グループによる困難課題解決の調査・研究					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、「政策実現調査・研究活動支援制度」を令和元年度も実施する。				
取組内容	【取組中】 ・年度初めに「政策実現調査・研究活動支援制度」の希望者を公募し、8テーマに必要な経費の支援を行った。				
取組による効果	・組織を横断し、政策形成能力の向上及び専門的でより高度な知識の習得を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・令和元年度は、制度を活用した8テーマのうち2テーマが課をまたがる課題（組織を横断した共通する課題）であり、期待する効果が得られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・「政策実現調査・研究活動支援制度」が効果的に活用されるよう、適切に周知を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、「政策実現調査・研究活動支援制度」を令和2年度も実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組				主管課	行政課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し					
改革手段	2 外郭団体の見直し					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	38

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		外 郭 団 体 の 見 直 し	外郭団体の見直し 実施方針に基づき、 外郭団体の見直しを 見直す。					・経費の削減 ・業務の最適化	行政課	
				方針に基づく見直し実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・外郭団体の見直しを図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況及び経営改善行程を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会				
取組による効果	・外郭団体の自立性の確保とともに、外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・概要整理票を作成し各団体の経営改善表を作成することにより、外郭団体の経営状況の改善を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度 評価点	—
取組に対する 外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めるために、取組みを継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		予算編成の見直し	予算編成の実施方法を実施計画策定の見直しや評価の実施などにあわせて見直す。					- 意思決定力の強化 - 意思決定過程の明確化	財政課	
				総合計画実施計画との連携					企画政策課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・企画、予算権限などの一部を各部に移譲する。				
取組内容	【取組中】 ・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討した。 ・ファシリティマネジメント関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映した予算編成を実施した。				
取組による効果	・意思決定力の強化が図られた。 ・意思決定過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討したこと及びFM関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・他部署との調整（権限移譲の依頼・受入）が必要である。 ・枠配分方式については一定の効果が出ているが、現状以上の効果を出すためには、さらなる見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・権限移譲可能な対象費目の検討、メリット・デメリットの検証を予算編成方針作成時に実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		各種計画や進捗管理の明確化	各課などで管理する計画の策定方法や進捗管理をガイドラインに基づき明確化する。					・政策決定の明確化 ・管理体制の強化	企画政策課	
				ガイドラインに基づく取組実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ガイドラインに基づき計画が策定されるよう、引き続き職員に周知する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市各種計画策定等ガイドラインに基づき、計画を策定するよう周知した				
取組による効果	・計画策定方法の明確化・効率化を図るとともに、実効性の高い計画の策定を図ることができる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・計画策定や進捗管理の基準について豊川市各種計画策定等ガイドラインによって明確化し周知できたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・豊川市各種計画策定等ガイドラインに基づき計画が策定されるよう、引き続き職員に周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
4		職員や各課からの意見聴取の推進	職員や市の各組織に対し、一定のルールのもと事業や制度などの意見を求め、反映する。					・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化	企画政策課	
				各種計画に対する意見募集の随時実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課の計画等について庁内から広く意見が聴取できるよう、引き続き職員に制度を周知する。				
取組内容	【取組中】 ・「庁内パブリックコメント制度」に基づき、意見聴取の推進を図った。				
取組による効果	・政策等の質の向上が図られるとともに、職員間の相互協力の気運が高まる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・取組みの実施により、本制度の利用に限らず、各課の計画等について庁内へ広く意見を募集することが浸透してきたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・各課の計画等について庁内から広く意見が聴取できるよう、引き続き職員に制度を周知することが必要である。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	2 評価手法の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		内部評価の実施	事業の所管部課が行う自己評価や職員間で行う庁内における評価といった事業の内部評価を実施する。	内部評価の実施				・事業の効率的な展開	企画政策課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課において、指標を重視した事業の実施に取り組むよう引き続き働きかけを行っていく。				
取組内容	【取組中】 ・実施計画の策定において、必要性、有効性、効率性の側面より事業の評価を行う取組を行った。				
取組による効果	・庁内評価による事業の磨き上げと効率的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・実施計画書作成にあたっては、必要性、有効性、効率性といった3つの視点による内部評価を経たうえで、行うこととしている。評価結果に基づき必要な対応や事業決定を行うことで、期待される効果が得られているので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・事業の効率的な展開を図るために、必要性を始めとしたさまざまな側面、特に客観的な指標に基いた検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・各課において、指標を重視した事業の実施に取り組むよう引き続き働きかけを行っていく。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	2 評価手法の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		外部評価の実施	市民などによる事前・事後の事業評価を実施する。	外部評価の実施				- 改善の推進 - 事業実施選択の促進 - 事業の質の向上 - 意思決定の明確化	企画政策課	
									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・総合計画実施計画事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと創生総合戦略会議で外部ヒアリングを実施した。				
取組による効果	・市民などからの意見により、事業内容の質の向上や改善が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30年度に実施したまち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業において、外部の目線による意見交換および評価を実施したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引き続き様々な分野で外部評価が実施できるようにする必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	4 組織・仕組				主管課	秘書課
施策	④ マーケティング機能の強化					
改革手段	1 マーケティング機能の強化					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	41

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		電子市政モニター制度の活用	電子行政モニター制度を事業検討過程の一環として活用する。					・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化	秘書課	
				制度の活用					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・モニター応募者の更新・拡大を図るため、広報紙やホームページと合わせ、民間のモニター登録サイト等を活用しながら、継続して電子市政モニター制度を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・対象者100人に対し、年6回のアンケートを実施した。①広報とよかわ（回答率：96%）②多文化共生（回答率：93%）③クラウドファンディング（回答率：87%）④コンパクトシティ（回答率：90%）⑤認知症（回答率：91%）⑥とよかわボランティア・市民活動センターだより（回答率：89%）				
取組による効果	・各施策や事業における市民ニーズ、理解度・認知度を把握することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・6つのテーマの平均回答率は91%と非常に高く、担当課へのフィードバックと合わせ、ホームページを通してアンケート結果を市民に公開できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・モニター応募者の年齢層に偏りがあるため、幅広い年代へ周知する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・モニターの募集にあたっては、広報紙、ホームページ、記者発表等を行い、幅広い年代に呼びかけるとともに、本制度を活用する課等においては、アンケート項目の精査等を行い、市政に繋げるよう働きかける。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	④ マーケティング機能の強化		
改革手段	1 マーケティング機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	41

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		アンケート調査などの実施方法の構築	事業ごとに実施するアンケート調査などの効果的な実施方法を構築する。					・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化 ・事務の効率化	企画政策課 関係各課	実施時期未定
				実施方法の検討						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・様々な効果的な実施方法について検討を実施する。				
取組内容	【調整中】 ・第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、「若者の活躍」という視点でのヒントを得るため、愛知大学との連携協定に基づき、学生とのミーティングを通じて直接的な意見の抽出を図った。				
取組による効果	・対面式ミーティングという形式により、若い世代から直接的な意見を得ることができ、戦略策定の参考とすることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・データ把握に係る多様な調査・検討を行っているため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・情報技術の進化とともに、新たなツールが提供されることが予想されるため、より効果的であると思われる手法についても引き続き調査・検討が必要であると思われる。
今後の具体的な取組予定	・今後も様々な手法を加味しながら、効果的なアンケート調査を実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	1 人材育成の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		職員の専門性の向上策の実施	資格取得補助制度を推進する。					・専門知識・資格の取得促進	人事課	
				資格試験合格者に経費の一部補助						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続して、スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等の派遣研修により、職員の専門性の向上を図っていく。				
取組内容	【取組中】 ・スペシャリスト養成推進費補助金を継続して実施し、延6名の支援を行った。 ・市町村アカデミー等派遣研修を継続実施し、費用対効果を勘案し受講者の選定を行った。				
取組による効果	・職員の専門性の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等派遣研修の実施により、多くの職員の専門性の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・行政需要が高度・多様化するなか、ますます職員の専門性の向上を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・継続して、スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等の派遣研修により、職員の専門性の向上を図っていく。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		学習的職場風土の醸成実施	庁内インターンシップ*やオープンカレッジ*形式の自主研修を実施する。					・学習的職場風土の醸成 ・キャリアプラン*形成機会の醸成	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。				
取組内容	【取組中】 ・庁内インターンシップを実施し、24名（採用2年目）が受講した。 ・庁内オープンカレッジを実施し、131名（9講座）が受講した。				
取組による効果	・他部署の業務を経験・知ること、自身のキャリアプランを考える機会とすることができた。 ・学習風土の醸成を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・庁内インターンシップと庁内オープンカレッジの実施により、学習風土の醸成やキャリアプラン形成機会の醸成を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 庁内インターンシップについては、各課の受入協力が必要である。 ・ 庁内オープンカレッジについては、メニューの充実に各課の協力が必要なことと、最少催行人数を定めているため、必ずしも希望どおりの講座が受けられるわけではなく、講師（担当課）との調整が必要である。
今後の具体的な取組予定	・ 各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進					
改革手段	1 人材育成の推進					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
4		EQ*検査の実施	EQ 検査を実施し、組織全体又は所属ごとの診断や、個人への診断結果を伝達する。					・職員研修の向上 ・人材の育成	人事課	実施時期未定
				研修の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・令和元年度も引続き休講とし、その後については、研修体系の見直しを行う中で、検討していく。				
取組内容	【調整中】 ・平成29年度までに管理監督者である課長級から係長級まで一通り受講を終え、研修体系の見直しにより、平成30年度以降についてはEQ検査を実施しないこととした。				
取組による効果	・特になし。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・研修体系の見直しにより、EQ検査を実施しないこととした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・平成29年度までに、管理監督者である課長級から係長級まで一通り受講を終え、平成30年度以降については実施していない。
今後の具体的な取組予定	・研修体系の見直しを行い、より効果的な研修を実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
5		人事評価制度の適切な運用	人事評価の評価結果を各職員に確実に伝達して人材育成につなげる。					・人材育成の向上	人事課	
				研修、評価を随時実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・人事評価制度マニュアルを令和元年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知する。 ・新任係長級を対象に人事評価制度研修を引き続き実施する。 ・現在の臨時・非常勤職員の人事評価制度への適用を検討する。				
取組内容	【取組中】 ・人事評価制度マニュアルを令和元年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知をした。 ・新任係長級57名を対象に、人事評価制度研修を実施した。 ・臨時・非常勤職員の人事評価を令和2年度より実施することとした。				
取組による効果	・人事評価制度の適切な運用が行われ、人材育成や人事配置、処遇反映に活用が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・人事評価制度マニュアルの周知と人事評価制度研修の実施により、人材育成の向上が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・人材育成のさらなる向上につなげるため、人事評価制度の継続した周知・研修等により、適切な運用を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・人事評価制度マニュアルを令和2年度版に改訂し、適切な運用がなされるよう周知する。 ・新任係長級を対象に人事評価制度研修を引き続き実施する。 ・臨時・非常勤職員（令和2年度から会計年度任用職員）の人事評価を適切に実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
6		上司の人材育成能力の向上策の実施	○JT*推進のための職場研修指導者養成研修*を実施する。部下成長度自己チェックを適性申告書*に盛り込む。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・職員の能力向上	人事課	
				課長補佐級職員を対象に研修実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続して、新任課長補佐級を対象としたO J T推進リーダー養成研修を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・新任課長補佐42名を対象にO J T推進リーダー養成研修を実施した。				
取組による効果	・O J T推進リーダー養成研修を行うことで、O J Tに関する理解を深め、職場での実践スキルの習得を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・O J T推進リーダー養成研修の実施により、職員の能力向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職場のO J T推進のために、継続して実施していくことが必要である。
今後の具体的 な取組予定	・継続して、新任課長補佐級を対象としたO J T推進リーダー養成研修を実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
7		学び続ける意欲の保持・向上策の実施	目標管理シート*や業績評価シート*に自己啓発目標の項目を追加する。	 目標管理シートや業績評価シートの運用				・自己啓発意欲の向上	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を設けた。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を実施し、延6名に対し支援を行った。				
取組による効果	・それぞれの取組実施により、自己啓発意欲の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目の記載を行い、スペシャリスト養成推進費補助金による支援を行ったことで、自己啓発意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職員の自己啓発意識の維持・向上のために、継続して実施できるようにすることが必要である。
今後の具体的な取組予定	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
8		信頼される 職員づくり の実施	法令遵守や情報セキュリティ・個人情報保護を徹底する。					・情報セキュリティ・個人情報保護レベルの向上 ・職員の意識向上	人事課	情報システム課 行政課
				・職員研修における意識づけ ・情報セキュリティ・個人情報保護研修等の実施 ・内部・外部監査の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・内容や実施方法の見直しを図りながら、引き続き現在の啓発、研修などを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・公務員倫理に関する研修及び全職員への通知啓発を実施した。 ・新規採用職員情報セキュリティ研修を実施した。				
取組による効果	・通知による啓発、研修を実施することにより、法令遵守に関する職員の知識と意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・取組内容の実施により法令遵守に対する意識の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・職員の法令遵守、綱紀粛正意識のさらなる向上を図るために、事業の継続が必要である。
今後の具体的な取組予定	・内容や実施方法の見直しを図りながら、引き続き現在の啓発、研修などを実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	2 定員適正化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		優秀な人材の確保	応募者の増加に努め、職員採用試験のあり方を創意工夫する。	 募集職種・人員の確保				・定員適正化の円滑な推進	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、公務員セミナーの開催（本市主催）や積極的なインターンシップの受入を継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・多くの民間企業が利用している総合検査（SPI）を導入した採用試験を継続実施した。 ・本市採用試験の受験が見込まれる大学等（3校（愛大、愛教大、南山大））の就職説明会等へ赴き、本市のPRを行った。 ・公務員セミナーを本市主催で実施し、本市の仕事を紹介した。 ・積極的なインターンシップの受入（15人）を行った。 ・採用試験の一般方式とSPI方式ともに応募者の全員面接を行うなど、人物重視の採用試験を実施した。				
取組による効果	・景気が上向いている影響で地方自治体の受験者が減少する傾向ではあるが、上記取組により、一定の応募者の確保に繋がった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・一般方式とSPI方式を合わせた採用予定人数63名（事務25、土木技師6、建築技師2、保健師2、消防8、保育士20）に対し、採用者55名（事務22、土木技師1、建築技師0、保健師3、消防8、保育士21）であった。一般方式とSPI方式については、採用予定人数に満たなかったが、民間経験者等を対象とした採用試験を実施するなど、結果として退職者数を補填することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・第5次定員適正化計画策定時から行政を取り巻く状況が大きく変化しており、計画数を上回る職員数を確保していく必要がある。そのため、次期定員適正化計画の策定を見据えた人材確保策を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、公務員セミナーの開催（本市主催）や積極的なインターンシップの受入を継続実施する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	2 定員適正化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		多様な採用形態の活用	任期付職員、再任用職員、嘱託員、臨時職員のそれぞれの特徴に合った配置を行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・サービス水準の維持 ・職員の業務量抑制	人事課	
				多様な採用形態による人材確保						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引続き、再任用職員、嘱託員、臨時職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。				
取組内容	【取組中】 ・職員の負担軽減等に対応するため、再任用職員、嘱託員、臨時職員を活用した。 ・育児休業によるマンパワーの不足を補うため、育児休業代替任期付職員4名を引き続き任用した。				
取組による効果	・職員の負担軽減を図ることができた。 ・育児休業代替任期付職員の活用により、育児休業によるマンパワーの不足を補うことができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・再任用職員、嘱託員、臨時職員及び育休代替任期付職員の活用により、職員の負担軽減とマンパワー不足を補うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・市民ニーズの変化に伴う行政需要の増加やワーク・ライフ・バランスの一層の推進に伴う仕事のあり方の変化に対応するため、引続き多様な採用形態を活用する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引続き、再任用職員、会計年度任用職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	3 政策形成・分析能力の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	45

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		職員の自律的な能力開発	能力診断ツールによる自己チェックとキャリアプラン*を作成する。					・政策立案能力の向上 ・政策実現に向けた調査・研究活動への支援 ・管理職の政策提言制度の実施 ・適性申告書*や業績評価*シートの活用	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシート等の活用を図る。				
取組内容	【取組中】 ・係長級以下の職員を対象に適性申告書を実施し、一般職員前期研修及び主任研修においてマイプランチェックシートを活用した。 ・一般職員前期研修において、「豊川市役所ジョブローテーション指針」について解説し、自身のキャリアプランを意識するための一助とした。				
取組による効果	・自身のキャリア形成に対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・前年度に掲げた目標どおり取組みを進めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 職員の自律的な能力開発を進めるため、上記取組を継続する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシート等の活用を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	情報システム課
施策	② 窓口サービスの向上					
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他						
				30	31	32	33		関係組織							
2		より身近で 便利で快適 な窓口サー ビスの実現	窓口でのコミュニ ケーションを 円滑にするた めにタブレット 端末の活用を 推進する。		>	>	>	>	>	>	>	>	>	・市民サービスの 向上	情報システム課	
				新たなサー ビス利 用の検 討	新たなサービス利用の実施				関係各課							

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新規導入アプリの使用感、要望・意見等を収集して、iPadの利用促進を図る。				
取組内容	【取組中】 ・関係各課から導入の要望があった翻訳用タブレット端末（市民協働国際課）やポケットーク（保育課）等Wifi利用端末の導入サポートを行った。また、ポケットーク（保育課）については、既存のタブレット端末を利用し管理・運用ができるように設定を行った。				
取組による効果	・Wifi環境を利用した通訳・翻訳等に利用できるタブレット端末等を導入し、市民サービスを図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・タブレット端末の新規活用を実施し、市民サービスの向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・新たなタブレット端末を利用したサービス等の検討を行う必要がある。 各課主導の導入が増えており、Wifi環境等インフラ整備の必要性について検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・無線AP等タブレットを利用するインフラの需要を把握して、安定運用を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	市民課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		住民票等書類の証明発行業務の見直し	個人番号カードを使って、コンビニエンスストアで住民票などの証明書の交付を行う。	>>>>>>>>>>>>				・市民サービスの向上	市民課	
				取組実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・カード交付時、住所異動届出、郵送による証明書の請求をした方に対し、パンフレットを配布し、コンビニ交付サービスの周知を行い、コンビニ交付サービスの普及拡大のため、周知活動を行う。 ・交付端末機の設置の検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・マイナンバーカード交付時や転入・転居などの住所異動届出時に、コンビニ交付パンフレットを配布し、利用を促した。 ・市民課フロアーにパンフレットやリーフレットを設置した。				
取組による効果	・コンビニ交付利用率が対前年比約1.5倍増加した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・マイナンバーカード交付時などで利便性を周知したこと、マイナンバーカードの取得者の増加に伴い、コンビニ交付利用率が増加したので、目標どおりの効果達成度した。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・コンビニ交付手続きへの手間がかかるだろうと思う壁がまだまだあることから、手続きの手軽さやコンビニ交付のメリットをPRし、手軽さを周知する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・マイナンバーカード交付時、住所異動届出、郵送による証明書の請求をした方に対し、パンフレットを引き続き配布し、またホームページ・イベントなどでわかりやすいコンビニ発行手続きする方法への周知をしていく。 ・交付端末機の設置の検討を行うため、他市町村調査を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質				主管課	人事課
施策	② 窓口サービスの向上					
改革手段	2 職員の接遇能力の向上					
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	47

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		接 遇 向 上 策の実施	「おもてな City とよかわ」を実施 する。					・継続実施による 職員の接遇向 上	人事課	
				各種接遇向上事業の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・ 「おもてなCityとよかわ」として、下記の事業を実施した。 おもてなC強化月間、年替りスキルアップ研修（接遇編）、接遇実地診断研修、とよかわおもてなし講習会、「おもてなC」卓上プレートの設置、「おもてなC」ポスターの掲示、全職員「コンシェルジュ」化の推進、アダプトプログラムの実施、職員の接遇に関する情報共有を行った。				
取組による効果	・ 接遇に対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 継続して「おもてなCityとよかわ」を実施することで職員の接遇に対する意識を向上することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・接遇に関してはゴールがないため、継続して実施していくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	中央図書館
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		ICタグ*利用システムの検討	図書館資料など(貸本を含む)にICタグによる管理システムを導入する。					・事務の簡素化 ・図書等の適切な管理	中央図書館	実施時期 未定
				導入自治体の調査・研究						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・業者から見積徴収するなど、引き続き調査研究を進める。				
取組内容	【調整中】 ・「ICタグ方式」などの各管理方式の長所や短所をしっかりと見極め、さらなる改良やコスト面での改善などの情報収集に努め、最適なタイミングで最良な方式を取り入れていけるよう研究を継続し、他市の状況など情報収集を行った。				
取組による効果	・有効性や費用対効果について検証した結果、現状では、多大な導入経費が必要となるのに対し、それに見合った経常経費の削減や事務の効率化が見込めないため、豊川市全体については直ちに導入すべきとの考えには至らなかった。 ・ICタグの導入に最適なタイミングを慎重に見極めることが重要であると分かった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・実施した調査研究により現状の把握を進めたことから、計画通りの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ICタグを始め図書管理システムは日々進化しているため、その他のシステムも含め、情報収集に努める。
今後の具体的な取組予定	・有効性や費用対効果について検証をした結果、ICタグ利用システムについては導入しないこととし、その他のシステムも含め情報収集に努める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		わかりやすく便利な電子申請の推進	あいち電子申請・届出システム*の活用を推進する。					・事務の効率化 ・市民サービスの向上	情報システム課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・利用頻度の少ない課に関心をもってもらうため、県や他自治体での活用事例等の情報を収集し、全庁向けに公開をする。また今年度作成した簡易マニュアル等の整備を行い、システム利用への抵抗感を抑制して全庁的に電子申請が利用される風土を醸成する。				
取組内容	【取組中】 ・愛知県の推奨する電子申請の普及方法に従い、共有可能なアンケート等の簡易様式を「職員コミュニティ」へ掲載して、職員が新規にアンケートを作成したい際に簡易様式をコピーして作成することができるようにした。また、利用方法のマニュアルを作成し、問い合わせ対応が容易にできるようにした。				
取組による効果	・電子申請の推進により、事務の効率化や市民サービスの向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・愛知県の実施する電子申請・届出システムの操作研修会への参加や、簡易マニュアルを利用した説明によって利用方法学んだ課による新規様式の作成件数が増加した。申請件数は例年と比べて大きく増加したため、目標を超える効果達成度とした。 平成29年度申請件数11,269件 平成30年度申請件数11,338件 平成31年度申請件数16,088件				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・国等の動向も踏まえ、行政手続きのオンライン化を推進していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・各手続きのオンライン化の状況を調査し、オンライン化が可能な手続きについてはオンライン化するためのフォローを行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	秘書課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
4		災害時の情報連携	災害時に市のホームページに被害があった場合の被害情報の発信を連携して行う。	取組実施				・情報提供の円滑化 ・市民サービスの向上	秘書課 防災対策課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、災害発生時に市民へ情報を伝えるために有効な手法について調査し、体制の構築に向けた取り組みを進める。				
取組内容	【取組中】 ・災害発生時におけるネットワーク障害等を防止するため、現在1カ所で運用しているホームページデータ用サーバーを遠隔地に追加設置した。				
取組による効果	・大規模災害発生時における情報発信機能を強化することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ホームページ用予備サーバーを設置し、災害時における情報発信機能を強化することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・市民が情報を収集しやすい環境の整備と合わせ、情報弱者に配慮した発信方法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・災害発生時に、市民へ情報をわかりやすく、迅速に伝えるため、システム整備を進める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	2 行政サービスの効率化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		住民情報システムの運用	住民情報関連システムを運用し、即時連携を可能とする。					- 市民サービスの向上 - コストの削減 - 事務処理の効率化 - 大規模災害対策の強化	情報システム課	平成32年度に次期システム運用予定
				・システムの運用 ・次期システムの検討・導入準備	システム、次期システムの運用					

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 現行システムが安定して稼働するよう必要となる対策や検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・ 調達業務全38業務に係るシステムが全てが安定的、継続的に稼働している。 ・ 停電を想定した非常時優先業務及び応急復旧業務を行うための初動対応訓練を実施した。				
取組による効果	・ システム利用期間を7年3か月と想定して、これまでの費用(自庁型)と今回の費用(クラウド型)を比較したところ、35パーセント以上の削減効果が認められた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ 大きな障害もなく、安定的にシステムを稼働できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・令和２年度途中より次期システムに更新となるため、令和元年度はシステム構築のため要件定義を行った。今後は引き続き関係団体と調整を行いながら進める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現行システムが安定して稼働するよう必要となる対策や検討を行いながら、次期システムへの更新に向けた準備を進める。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	2 行政サービスの効率化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		行政情報システムの運用	行政情報関連システムを運用し、効率的な行政運営をする。	 システムの運用				・コストの削減 ・事務処理の効率化 ・大規模災害対策の強化	情報システム課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も継続して安定的に稼働するよう必要な対策及び検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・行政情報システムの安定的、継続的な稼働を実施した。				
取組による効果	・システム利用期間を8年3か月と想定して、これまでの費用（自庁型）と今回の費用（クラウド型）を比較したところ、30パーセント以上の削減効果が認められた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・1年間、大きな障害なく安定的にシステムを稼働できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・システムの安定的な稼動が必要である。
今後の具体的 な取組予定	・今後も継続して安定的に稼動するよう必要な対策及び検討を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		業務改善を図る人材育成の実施	自由なアイデアを引き出すための人材育成を実施する。	>>>>>>>>>>>>>>>>				・職員の業務改善意識の向上	行政課	
				・業務改善研修の実施 ・人事評価制度における意識付け					人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・職員に対して、T-1グランプリを通して業務改善スキルの共有が図れるように、引続き他課や他市などの業務改善の取組事例等の情報発信を行う。				
取組内容	【取組中】 ・T-1グランプリの一環として「カイゼン週間」を設定し、他課の業務改善の取組事例について各課に紹介し、業務改善への意識の高揚を図った。				
取組による効果	・他課などの業務改善の取組事例を紹介することにより、職員が身近な視点でカイゼンを考える機会を持つことができ、業務改善意識及び業務改善スキルの向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・T-1グランプリを通して他課などの業務改善の取組事例を紹介することにより、業務改善意識及び業務改善スキルの向上を図る取組みができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・T-1グランプリで実践した業務改善スキルを実施課の職員だけのものとしな いように、引き続き業務改善スキルを共有していく必要がある。
今後の具体的 な取組予定	・職員に対して、T-1グランプリを通して業務改善スキルの共有が図れるよう に、引続き他課や他市などの業務改善の取組事例等の情報発信を行う。令和3年 度以降については、T-1グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務改 善の取組事例等の情報発信を行う。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		業務スクラップ運動の推進	仕事カイゼンの取組の一つとして業務スクラップ部門を設け、業務スクラップ運動を推進する。					・業務の効率化	行政課	
				業務スクラップ運動の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きT-1 グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。				
取組内容	【取組中】 ・T-1 グランプリの提案書をチェック表として活用し、業務スクラップを取組みの視点として取り入れてT-1 グランプリを実施した。				
取組による効果	・T-1 グランプリの提案書について、14件の業務スクラップに関する取組みがあり、うち10件が実施完了した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・T-1 グランプリの取組として業務スクラップを実施することで、10件の業務について業務量が軽減され、業務の効率化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・業務スクラップの割合が全体の約８％と低いため、業務スクラップの推進を継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続きT-1 グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。令和３年度以降については、T-1 グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務の効率化を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
4		内部統制 *の推進	業務の有効性及び効率性に関する事務リスクの評価(リスクマネジメント)を実施する。					・職員の業務改善意識の向上 ・業務の効率化 ・法令等の遵守	行政課	
			実施方法の調査・研究	取組実施					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

今後の具体的な取組予定	・業務手順の可視化作業を実施する。 ・職員に向けて内部統制制度の周知を図る。				
取組内容	【取組中】 ・内部統制アドバイザーによる研修を4回実施した。 ・「業務手順の可視化の試行的実施」を行い、12の業務について業務手順書と業務フローを作成した。 ・業務手順の可視化の有効性に関する管理職員向け研修会を開催した。				
取組による効果	・内部統制アドバイザーの指導等により、職員が内部統制の重要性を認識し、理解を深めることができた。 ・業務手順の可視化について、対象事務に潜むリスクの識別等を行うための有効な手法であるか検討することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・内部統制アドバイザーによる研修の受講及び業務手順書と業務フローを作成し業務手順の可視化を行い、職員が内部統制の重要性を認識し、理解を深めることができたため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・職員に向けて内部統制の周知を図る必要がある。 ・内部統制の推進方法を検討していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・リスク管理手順書等を作成し、リスク管理の作業内容の整理を行う。 ・職員に向けて内部統制制度の周知を図る。

**具体的取組評価結果票
(令和元年度分)**

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	2 職場環境の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		組織目標の共有化の実施	目標管理制度*などを活用して組織目標を共有化する。					・目標達成による成果の向上 ・役割分担、職員間コミュニケーション、職場の一体感の醸成	人事課	
				目標管理制度の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・管理職の目標管理制度を実施する。 ・新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 ・各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。				
取組内容	【取組中】 ・管理職の目標管理制度を実施した。 ・新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施し、44名が参加した。 ・各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図った。				
取組による効果	・目標を明確化することによって、自己コントロール能力、部下育成能力、働く意欲の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理制度の活用により、職員の能力向上や働く意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度 評価点	—	
取組に対する 外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する 今後の課題	・ 所属職員全員への組織目標の共有化の徹底を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 管理職の目標管理制度を実施する。 ・ 新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 ・ 各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課							
施策	④ 業務改善の推進									
改革手段	2 職場環境の向上									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		職員の役割と責任の明確化	目標管理制度・人事評価制度*を推進して、上司と部下の役割分担や業務を担う立場を明らかにする。	目標管理制度、人事評価制度の実施				- 円滑な事務の推進 - 市民サービスの向上 - 人材育成能力の向上	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	- 目標管理制度及び人事評価制度を実施する。 - 階層別研修を実施する。 - 必要に応じて研修体系の見直しを行う。				
取組内容	【取組中】 - 目標管理制度及び人事評価制度を実施した。 - 階層別研修を実施した。 - 必要に応じて研修体系の見直しを行った。				
取組による効果	役職に応じた責任と役割を明確化し、その役割に必要なとなるスキルの向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	目標管理制度や人事評価制度の推進により、役職に応じて必要となるスキルの向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	役職に応じた責任と役割を明確化し、その役割に必要なとなるスキルの向上を図るため、継続して実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	- 目標管理制度及び人事評価制度を実施する。 - 階層別研修を実施する。 - 必要に応じて研修体系の見直しを行う。

4 重点評価の結果(令和2年8月6日実施)

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化	アクションプラン 該当ページ	15
改革手段	1 企業などとの連携	報告書 該当ページ	6
件名	3 企業など他団体との人事交流		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	・豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部ともに、様々な業種の企業の方が集まっており、その中で交流を深め、人脈を広げるということに非常に効果があると思う。しかし、イベント等の事業活動への参加が中心になっていては、企業の業務、内部の仕組み等を理解し、企業のいいところを行政にフィードバックするところまでは至らないと思う。 ・この目標では、派遣し参加させること、継続して受け入れることが目標になっている。市の業務へ還元することが重要であると思う。民間企業へ派遣している職員から、活動報告等は受けているのか。その中で、行政と民間企業の違いなど、様々な情報を収集し、行政に生かしていくことができる内容なのかを切り分け、学習し、生かしていくことが効果であると思う。 ・企業との人事交流を考えるならば期間1年ぐらい出向させなければ民間の知識習得は難しいと思う。 ・配属先（マーケティング部、人事部、生産管理部など）の希望も派遣先企業等に依頼して実施すれば効果が大きいと思う。		
-------------------	--	--	--

将来像	2 情報・共有	主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充	アクションプラン 該当ページ	21
改革手段	2 見える化の推進	報告書 該当ページ	12
件名	2 予算編成過程の公開		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	・予算として決まったものだけ公表するのではなく、編成過程を公開することには大変重要な取組みであると思う。行政政策の根幹部分になると考えるため、信念持って継続していただきたい。 ・クラウドファンディング事業は、財政の重点施策として公表した方がいいのではないかと考える。 ・予算要求額と財政課の査定で調整された後の予算額が大きいものについて、公開された情報だけでは、その過程が分からないため不十分であると思う。 ・「豊川市の予算の姿（ビジュアル版）」や広報に掲載する内容を充実させることで、市民に対する見える化が進むと思う。 ・予算に関心を持ってもらう試みも必要であり、一般市民向けの「予算セミナー」、「豊川市の懐事情」などを企画することもよいのではないかと考える。 ・情報を公開する際に、単年度予算と長期計画の予算なのかを分かるようにしていただくと良いと思う。		
-------------------	---	--	--

重点評価の結果(令和2年10月6日実施)

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化	アクションプラン 該当ページ	33
改革手段	2 施設の見直し及び処分	報告書 該当ページ	16
件名	1 施設の見直し及び処分		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	・住民の理解を得るために説明を分かりやすく、丁寧に行い、予定どおり進めていただく必要があると考える。 ・小坂井地区の公共施設再編について、ホームページ上にニュース瓦版（イベント内容の記事）が掲載されていますが、発行日が入っていないため、いつ作成したものが分かりにくくなっている。発行日を入れる必要がある。 ・今後施設の見直しを行うに当たっては、障害者優先調達法に基づき清掃業務等の委託先を、財産管理課、福祉課、生涯学習課等と連携して進めていただきたい。
-------------------	---

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立	アクションプラン 該当ページ	40
改革手段	2 評価手法の充実	報告書 該当ページ	21
件名	3 施策の成果の見直し		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	・各課で評価制度が重複しており、同じ施策に対して複数の評価報告を行わなければならない無駄を検証すべきと考える。
-------------------	--

重点評価の結果(令和2年10月6日実施)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進	アクションプラン 該当ページ	48
改革手段	1 行政サービスの高度化	報告書 該当ページ	25
件名	1 GISの活用（工事箇所情報、災害時の情報等の提供）		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	・ 主管課の仕事量が分からないが、システム構築自体を情報システム課が行っていないのであれば、「重点取組」とする必要はないと考える。 ・ スマートフォンでサイトを見たが、情報が分かりにくい点がある。今は、パソコンではなくスマートフォンやタブレットで見る機会が多くなっているため、これらの機器ですぐに見て分かりやすいものにする、豊川市のSNSで発信していくことでより市民が使いやすいものになると考える。 ・ 「医療・福祉」のカテゴリーの福祉分野には介護の情報はあるが、障害などの福祉情報が少ないと感じる。GISシステムのより良い活用をお願いしたい。
---------------------------	--

■審議経過

期日	内容
令和2年4月	主管課評価(自己評価)実施
5、6月	主管課評価(自己評価)結果の整理
8月	6日 第38回豊川市行政経営改革審議会での審議①
10月	6日 第39回豊川市行政経営改革審議会での審議②
10～11月	報告書策定・確認・公表

■豊川市行政経営改革審議会委員

令和2年6月25日現在・敬称略

氏 名	役 職 名
阿部 聖	愛知大学 教授
見目 喜重	豊橋創造大学 教授
長谷川 完一郎	豊川商工会議所 専務理事
前原 恵介	豊川青年会議所 理事長
佐竹 宏仁	東海税理士会豊橋支部
酒井 雅喜	連合愛知三河東地域協議会 事務局長
曾田 光子	豊川信用金庫 常勤理事 経営企画部長
堀内 秀雄	ひまわり農業協同組合 総合企画部長
岡本 由紀子	特定非営利活動法人メンタルネットとよかわ 理事長
石黒 貴也	豊川市文化のまちづくり委員会 委員長
山川 和明	豊川市社会教育審議会 委員
中村 信彦	公募
小林 尚美	公募



豊川市行政経営改革プラン
行政経営改革アクションプラン

取組状況報告書

令和2年11月

《発行》

豊川市 総務部 行政課

〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地

TEL : 0533-89-2123 FAX : 0533-89-2125

Email : gyosei@city.toyokawa.lg.jp